

令和3年度
(2021年度)

予算概要説明書

2021年2月
町田市

***** 目 次 *****

I 2021年度予算の概要

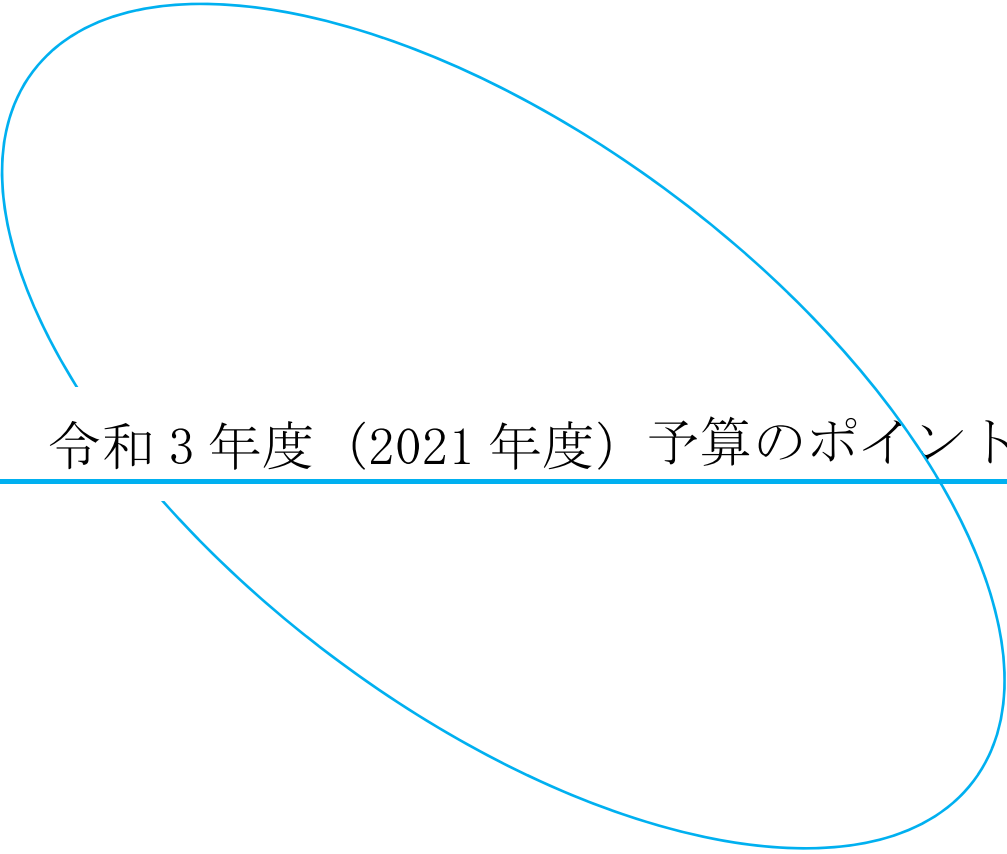
1 令和3年度（2021年度）予算のポイント	
(1) 予算編成方針	2
(2) 2021年度予算フレームの概要	2
2 歳入歳出予算の状況	
(1) 予算規模	
・一般会計予算規模	6
・会計別予算構成表	6
・一般会計予算規模 伸び率	6
・特別会計予算規模	7
・会計別予算構成	7
(2) 歳入予算	
・主な歳入予算	8
・一般会計歳入予算内訳表	8
・市税の状況	9
・(参考) 市税の推移	9
(3) 歳出予算	
・主な歳出予算	10
・一般会計歳出予算目的別内訳表	10
・一般会計歳出予算性質別内訳表	11
・性質別予算のトピックス	11
(4) 積立金（基金）・市債	
・積立金（基金）の状況	12
・基金の年度末現在高の推移	12
・市債の状況	13
・市債（一般会計）の年度末現在高等の推移	13
・参考 地方消費税交付金（社会保障財源分）	13
3 町田市5ヵ年計画 17-21 における財政見通し（一般財源ベース）	14
4 2021年度予算において重点的に取り組む事業	15
参考資料	
・予算の構成表及び内訳	70

※各ページ項目をクリックするとそのページへ移動します。

Ⅱ 部別予算概要説明書

「部別予算概要説明書」の見方	73
1 政策経営部	74
2 総務部	82
3 財務部	92
4 防災安全部	106
5 市民部	111
6 文化スポーツ振興部	125
7 地域福祉部	134
8 いきいき生活部	146
9 保健所	163
10 子ども生活部	171
11 経済観光部	185
12 環境資源部	194
13 道路部	204
14 都市づくり部	214
15 下水道部	226
16 会計課	237
17 議会事務局	240
18 選挙管理委員会事務局	244
19 監査事務局	248
20 農業委員会事務局	251
21 学校教育部	254
22 生涯学習部	267
23 事業別支出科目一覧	275
24 職員人件費の状況	369

I 2021年度予算の概要



1 令和 3 年度（2021 年度）予算のポイント

(1) 予算編成方針

◇ 2021 年度の予算編成にあたっては

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民の生活や市内の経済活動を支える施策を最優先とするとともに、アフターコロナにおいて必要不可欠なデジタル化を積極的に推進する予算と位置付け、次の点を基本に編成しました。

基本方針 1

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市税収入が減少するなど歳入予算の大幅な減少が見込まれることから、事業の優先順位付けを行い、実施時期の見直しや、事業の廃止、縮小など事務事業の抜本的な見直しを行うことで、自律的な財政運営を確保する。

基本方針 2

「町田市 5 ヵ年計画 17-21」における「財政見通し」では 2021 年度においても収支不足が見込まれており、さらに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収支不足の拡大が想定され大変厳しい財政状況となっている。このような状況の中、現在計画されている政策的事業の一般財源上限額を定め、歳出増加の抑制を図る。

基本方針 3

2021 年度の予算編成において、重点的に取り組む事業は、市民の生活や市内の経済活動を支える事業、アフターコロナを見据えたデジタル化等の新たな課題に対応すべき事業、まちの魅力向上につながる事業を柱とし、行政関与の必要性や、緊急性、費用対効果がそれぞれ高い事業に限定する。

(2) 2021 年度予算フレームの概要

○ 全会計歳出総額 3,003 億 1,440 万円 (+126 億 1,509 万円)

一般会計と特別会計とを合わせた総予算額は、3,003 億 1,440 万円で、対前年度比較で 126 億 1,509 万円 (4.4%) の増加となりました。

○ 一般会計歳出総額 1,738 億 4,207 万円 (+77 億 3,819 万円)

一般会計予算規模は、1,738 億 4,207 万円で、対前年度比較で 77 億 3,819 万円 (4.7%) の増加となりました。

○ 2021 年度の特徴

2021 年度は、2022 年 1 月から稼働する循環型施設整備事業、2021 年 9 月から校舎の使用を開始する町田第一中学校改築事業など大型投資的事業が最終年度を迎えます。また、芹ヶ谷公園の魅力を最大限に生かすための（仮称）国際工芸美術館整備事業や、町田の未来を担う子どもたちに ICT を活用した新しい教育を提供する教育の情報化推進事業、さらには 2021 年度に延期された東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会推進事業など、厳しい財政状況においても、今実行すべき真に必要な施策を選択し、集中することを前提に、町田市の未来につながる予算を計上しています。

○税収

636 億 1,957 万円 (△52 億 1,114 万円)

新型コロナウイルス感染症の影響等による

納税義務者数の減少等による個人市民税の減	△25.0 億円
税制改正による軽減措置に伴う固定資産税の減	△16.6 億円
企業業績の悪化等による法人市民税の減	△10.2 億円

○事務事業見直し

△7 億 1,881 万円

①事務事業見直し

「事務事業見直しの基本的な考え方」に基づき、各部における事務事業の見直しを行うことで、事業費を削減するとともに、総業務時間を減少させ、時間外勤務手当を含む人件費の削減を行いました。

②補助金等及び扶助費見直し

2016 年度予算編成で段階的に見直すものとした町田市単独事業の補助金等について、2021 年度予算編成において引き続き見直しを行いました。

○2021年度を支える3つの柱

①市民の生活や市内の経済活動を支える事業	260 億 1,086 万円	詳細 P.19参照
‣ 循環型施設整備事業	154 億 9,602 万円	
‣ 小・中学校体育館空調設備設置事業	42 億 2,610 万円	
‣ 町田第一中学校改築事業	34 億 8,061 万円	
‣ 新型コロナウイルス感染症対策関連事業	9,312 万円	
‣ その他事業	27 億 1,501 万円	
②デジタル化等の新たな課題に対応すべき事業	9 億 6,282 万円	詳細 P.39参照
‣ 教育の情報化推進事業	8 億 1,332 万円	
‣ デジタル化推進事業	1 億 4,950 万円	
③まちの魅力向上につながる事業	39 億 861 万円	詳細 P.42参照
‣ (仮称)国際工芸美術館整備事業	1 億 1,152 万円	
‣ 鶴川駅周辺街づくり事業	6 億 2,115 万円	
‣ 温浴施設整備事業	7 億 108 万円	
‣ スポーツをする場の環境整備事業	4 億 6,743 万円	
‣ その他事業	13 億 7,743 万円	

2 歳 入 歳 出 予 算 の 状 況

(1) 予算規模

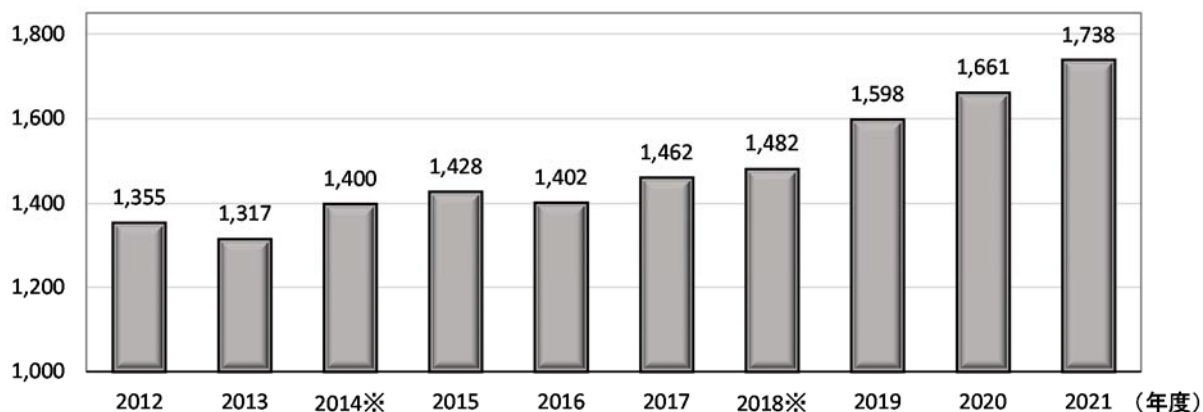
一般会計予算規模 1,738 億 4,207 万円（前年度比 +77 億 3,819 万円、+4.7%）
○ 一般会計の予算規模は、前年度に比べて 4.7%増の 1,738 億 4,207 万円で、昨年度を上回りました。
＜歳入＞
○ 市税は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、前年度に比べて 52 億 1,114 万円減の 636 億 1,957 万円となる一方で、市債や国庫支出金、新型コロナウイルス感染症による減収分を補填する新型コロナウイルス感染症対策地方税収補填特別交付金等がそれぞれ増額しています。
＜歳出＞
○ 市税収入が減少するなど歳入予算の大幅な減少が見込まれることから、事業の優先順位付けを行い、実施時期の見直しや、事業の廃止、縮小など事務事業の抜本的な見直しを行う一方で、小・中学校体育館空調設備設置事業などの市民の生活や市内の経済活動を支える施策を最優先するとともに、キャッシュレス決済の導入などのアフターコロナを見据えたデジタル化等の新たな課題に対応すべき事業や、(仮称) 国際工芸美術館整備事業などのまちの魅力向上につながる事業を柱とし、行政関与の必要性や、緊急性、費用対効果がそれぞれ高い事業を選択しています。

2021年度 会計別予算構成表

(単位: 千円・%)

区 分	2021年度		2020年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
一 般 会 計	173,842,073	57.9	166,103,888	57.7	7,738,185	4.7
特 別 会 計	126,472,328	42.1	121,595,421	42.3	4,876,907	4.0
合 計	300,314,401	100.0	287,699,309	100.0	12,615,092	4.4

○ 一般会計予算規模 伸び率



年度	2012	2013	2014※	2015	2016	2017	2018※	2019	2020	2021
伸び率 (%)	△ 4.1%	△ 2.8%	6.3%	2.1%	△ 1.8%	4.2%	1.4%	7.8%	4.0%	4.7%

※2014年度及び2018年度は、当初予算が骨格的予算のため、6月補正後の予算額です。

特別会計予算規模 1,264 億 7,233 万円（前年度比 +48 億 7,691 万円、+4.0%）

○ 特別会計の予算規模は、前年度に比べて 4.0%増の 1,264 億 7,233 万円で、昨年度を上回りました。

○ 主な増減内容

〔国民健康保険事業会計〕

被保険者一人あたりの医療費の増などにより 8 億 9 千万円の増

〔介護保険事業会計〕

要介護者認定者数及びサービス受給者数の増により 12 億 4 千万円の増

〔後期高齢者医療事業会計〕

被保険者数や医療費の増により 1 億 6 千万円の増

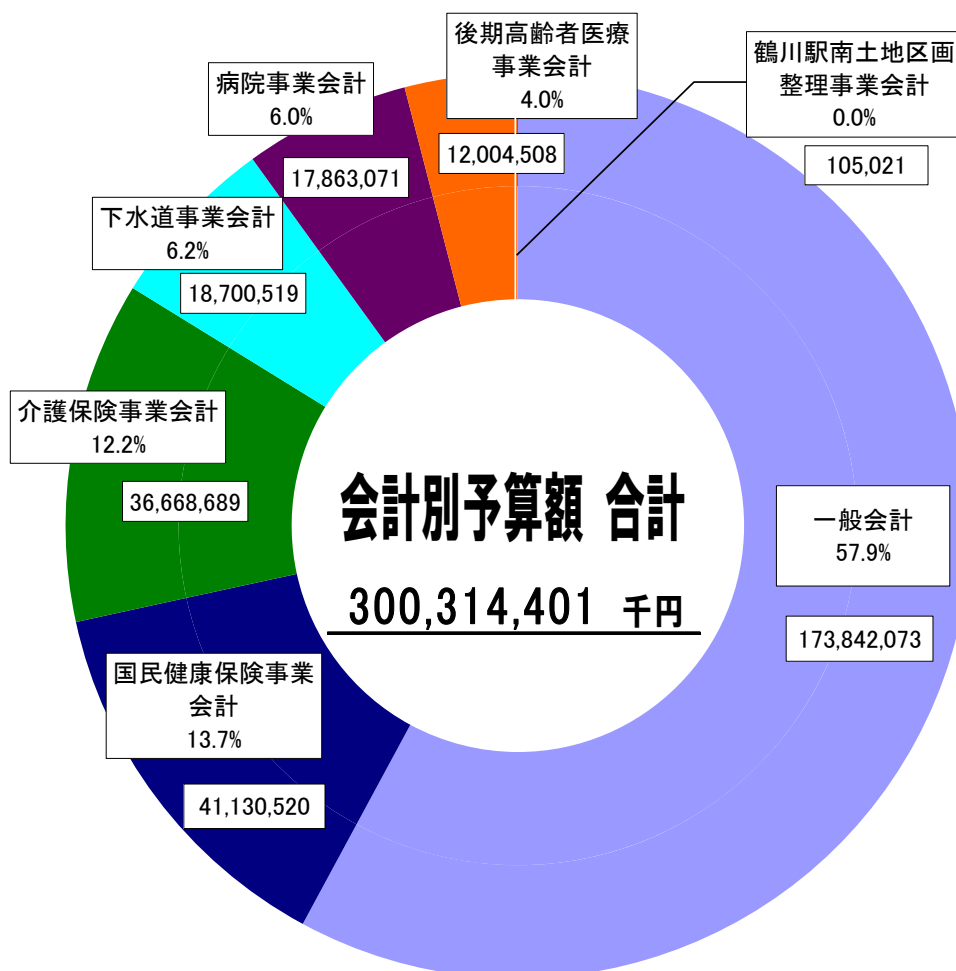
〔下水道事業会計〕

成瀬クリーンセンター及び鶴見川クリーンセンター改良事業費等の増により 8 億 6 千万円の増

〔病院事業会計〕

病院情報システム更新の備品購入費等の増による 16 億 9 千万円の増

■ 2021 年度 会計別予算構成（単位：千円）



(2) 歳入予算

主な歳入予算	
○ 市税では、新型コロナウイルス感染症の影響による減少を見込み、前年度比 52 億 1 千万円の減を見込んでいます。	
＜個人市民税＞	
納税義務者数の減少及び給与所得者、営業所得者の個人所得金額の減少を見込み、25 億円（8.0%）の減となりました。	
＜固定資産税＞	
2021 年度は、3 年に 1 度の評価額を見直す評価替えにあたります。土地では、地価の下落により、1 億 2 千万円の減額を見込んでいます。家屋及び償却資産では、税制改正による新型コロナウイルス感染拡大に伴う軽減措置等の要因により、17 億 7 千万円の減額を見込み、固定資産税全体で 16 億 6 千万円（6.3%）の減となりました。	
○ 新型コロナ感染症の影響による減収分に対する国の財源措置を以下のとおり見込んでいます。	
＜地方交付税及び臨時財政対策債＞	
基準財政収入額の減少に伴い、地方交付税及び臨時財政対策債を合わせて 14 億 4 千万円の増額を見込んでいます。	
＜新型コロナウイルス感染症対策地方税収補填特別交付金＞	
固定資産税等の軽減措置などによる減収分については、19 億 3 千万円を見込んでいますが、国により全額が補填されます。	
○ 国庫支出金では、小・中学校体育館空調設備設置事業費、町田第一中学校改築事業費の増などに伴う学校施設環境改善交付金の 9 億 7 千万円の増額や、循環型施設整備事業費の増に伴う循環型社会形成推進交付金の 6 億 1 千万円の増額など、12 億 1 千万円の増額を見込んでいます。	
○ 市債では、野津田公園スポーツの森整備事業費などの減などに伴う都市計画事業債の 35 億 1 千万円の減額の方、循環型施設整備事業費の増などに伴う廃棄物処理施設整備事業債の 36 億 8 千万円の増額などで、76 億 6 千万円の増額を見込んでいます。	

2021 年度 一般会計歳入予算内訳表

（単位：千円・％）

区 分	2021 年度		2020 年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 市 税	63,619,570	36.6	68,830,713	41.5	△ 5,211,143	△ 7.6
2. 地 方 消 費 税 交 付 金	8,615,000	5.0	8,680,000	5.2	△ 65,000	△ 0.7
3. 地 方 交 付 税	1,729,000	1.0	1,149,000	0.7	580,000	50.5
4. 国 庫 支 出 金	34,144,045	19.6	32,931,479	19.8	1,212,566	3.7
5. 都 支 出 金	23,731,626	13.7	22,505,449	13.5	1,226,177	5.4
6. 市 債	23,612,000	13.6	15,950,000	9.6	7,662,000	48.0
7. そ の 他	18,390,832	10.5	16,057,247	9.7	2,333,585	14.5
歳 入 合 計	173,842,073	100.0	166,103,888	100	7,738,185	4.7

〔市税の状況〕

新型コロナウイルス感染症の影響等による

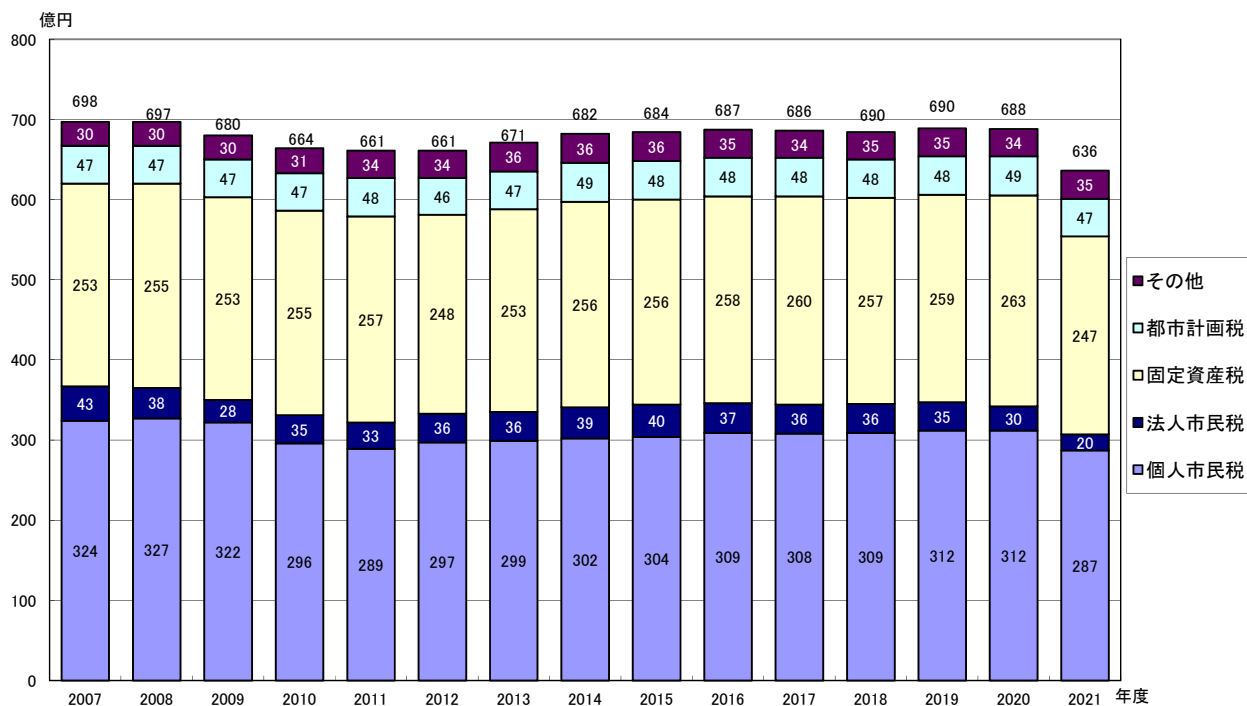
- ・ 納税義務者数の減少等による個人市民税の減 △25.0 億円
- ・ 税制改正による軽減措置に伴う固定資産税の減 △16.6 億円
- ・ 企業業績の悪化等による法人市民税の減 △10.2 億円

■市税予算の内訳

(単位：千円・%)

区 分	2021年度	2020年度	比 較	
			増減額	増減率
市民税	30,669,816	34,189,838	△ 3,520,022	△ 10.3
個人	28,678,188	31,178,337	△ 2,500,149	△ 8.0
法人	1,991,628	3,011,501	△ 1,019,873	△ 33.9
固定資産税	24,678,885	26,334,207	△ 1,655,322	△ 6.3
土地（現年課税）	11,588,954	11,710,291	△ 121,337	△ 1.0
家屋（現年課税）	10,135,350	11,281,667	△ 1,146,317	△ 10.2
償却資産（現年課税）	2,189,480	2,754,930	△ 565,450	△ 20.5
その他	765,101	587,319	177,782	30.3
軽自動車税	508,005	500,755	7,250	1.4
市たばこ税	2,179,492	2,065,988	113,504	5.5
事業所税	861,194	840,395	20,799	2.5
都市計画税	4,717,587	4,893,229	△ 175,642	△ 3.6
その他	4,591	6,301	△ 1,710	△ 27.1
合 計	63,619,570	68,830,713	△ 5,211,143	△ 7.6

(参考) 市税の推移



※2007～2019 年度は決算額、2020・2021 年度は当初予算額

(3) 歳出予算

主な歳出予算	
○	2021年度は、今実行すべき真に必要な施策を選択し、集中することを前提に、町田市の未来につながる予算を計上しています。
○	2021年度は、循環型社会の構築に向けた熱回収施設等の整備、老朽化に対応した町田第一中学校の改築、教育活動や避難施設での熱中症対策等に対応した小・中学校37校の体育館空調設備の設置などを実施します。また、市民の安全・安心のため、新型コロナウイルス感染症へ対応する地域外来・検査センターでのPCR検査や、スポーツをする場の環境整備として成瀬鞍掛スポーツ広場の整備など、市民の生活を支え、まちの魅力向上につながる事業を実施します。
○	このほか、芹ヶ谷公園“芸術の杜”と一体的に整備する（仮称）国際工芸美術館の整備や、児童・生徒にICTを活用した新しい教育を提供する教育の情報化の推進、さらには2021年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の応援や、市の副次核となる鶴川駅周辺の街づくりなど、今後、町田市が市内外からの関心と憧れを高め、選ばれ続けるまちとなるため、未来への投資を積極的に行います。

2021年度 一般会計歳出予算目的別内訳表

(単位:千円・%)

区 分	2021年度 予 算 額 (構成比)	2020年度 予 算 額 (構成比)	増 減 額 (増減率)	2021年度予算額の財源内訳				
				特 定 財 源				一般財源 (構成比)
				国庫支出金	都支出金	地方債	その他	
1. 衛生費	26,695,521 (15.4%)	20,938,599 (12.6%)	5,756,922 (27.5%)	4,356,473	856,251	8,640,000	4,546,667	8,296,130 (9.5%)
2. 教育費	20,466,005 (11.8%)	15,164,959 (9.1%)	5,301,046 (35.0%)	1,094,771	2,064,386	5,627,000	1,627,221	10,052,627 (11.5%)
3. 土木費	10,737,821 (6.2%)	17,008,392 (10.2%)	△ 6,270,571 (△36.9%)	247,031	1,059,086	1,277,000	1,215,727	6,938,977 (7.9%)
4. その他	115,942,726 (66.6%)	112,991,938 (68.1%)	2,950,788 (2.6%)	28,610,980	17,792,503	4,119,000	3,282,287	62,137,956 (71.1%)
歳 出 合 計	173,842,073 (100.0%)	166,103,888 (100.0%)	7,738,185 (4.7%)	34,309,255	21,772,226	19,663,000	10,671,902	87,425,690 (100.0%)

○ 目的別予算のトピックス

- ・衛生費は、対前年度比 57 億 6 千万円、27.5%の増となりました。これは、循環型施設整備事業などの事業費が増額したことによるものです。
- ・教育費は、対前年度比 53 億円、35.0%の増となりました。これは、小・中学校体育館空調設備設置事業や町田第一中学校改築事業などの事業費が増額したことによるものです。
- ・土木費は、対前年度比 62 億 7 千万円、36.9%の減となりました。これは、野津田公園スポーツの森整備事業や準幹線道路新設改良事業などの事業費が減少したことによるものです。

2021年度 一般会計歳出予算性質別内訳表

(単位: 千円・%)

区 分		2021年度		2020年度		比 較	
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人 件 費	23,199,485	13.4	23,551,141	14.2	△ 351,656	△ 1.5
	職 員 給 与 費	22,372,140	12.9	22,499,256	13.6	△ 127,116	△ 0.6
	特 別 職 給 与 費 等	827,345	0.5	1,051,885	0.6	△ 224,540	△ 21.3
	扶 助 費	53,578,534	30.8	52,497,710	31.6	1,080,824	2.1
	公 債 費	10,678,019	6.1	7,745,028	4.7	2,932,991	37.9
	計	87,456,038	50.3	83,793,879	50.5	3,662,159	4.4
投 資 的 経 費		29,040,111	16.7	23,818,410	14.3	5,221,701	21.9
その他の経費	物 件 費	24,124,253	13.9	25,148,346	15.1	△ 1,024,093	△ 4.1
	維 持 補 修 費	814,700	0.5	951,549	0.6	△ 136,849	△ 14.4
	補 助 費 等	12,062,193	6.9	12,760,614	7.7	△ 698,421	△ 5.5
	繰 出 金	19,517,237	11.2	18,672,570	11.2	844,667	4.5
	出 資 金 ・ 貸 付 金	101	0.0	1,801	0.0	△ 1,700	△ 94.4
	積 立 金	677,440	0.4	806,719	0.5	△ 129,279	△ 16.0
	予 備 費	150,000	0.1	150,000	0.1	0	0.0
	計	57,345,924	33.0	58,491,599	35.2	△ 1,145,675	△ 2.0
歳 出 合 計		173,842,073	100.0	166,103,888	100.0	7,738,185	4.7

○ 性質別予算のトピックス

義務的経費

・ 人件費

事務事業の抜本的な見直しの一環として、時間外勤務手当などを削減したことなどにより対前年度比 3 億 5 千万円、1.5%の減となりました。

・ 扶助費

障がい者サービス給付事業や、認定こども園等施設型給付事業などの事業費が増加したことに伴い、対前年度比 10 億 8 千万円、2.1%の増となりました。

・ 公債費

2012 年度に市庁舎建設の際に借り入れた市債の借り換えを行うことなどに伴い、対前年度比 29 億 3 千万円、37.9%の増となりました。

投資的経費

循環型施設整備事業、スポーツをする場の整備事業などの事業費が増加したことに伴い、対前年度比 52 億 2 千万円、21.9%の増となりました。

その他経費

・ 物件費

税務系システム整備運用事業や、東京都知事選挙管理執行事務などの事業費が減少したことに伴い、10 億 2 千万円、4.1%の減となりました。

・ 繰出金

国民健康保険事業会計繰出金、介護保険事業会計繰出金が増加したことに伴い、対前年度比 8 億 4 千万円、4.5%の増となりました。

(4) 積立金（基金）・市債

①積立金（基金）の状況

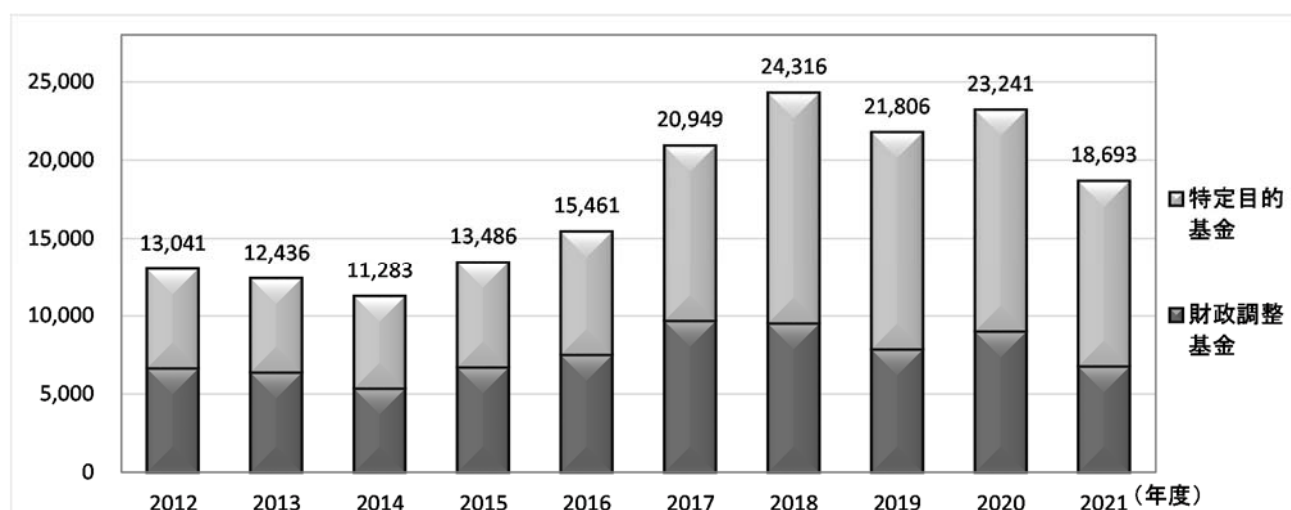
財政調整基金現在高は、2020 年度末時点で 90 億 1,605 万円です。2021 年度当初予算では 22 億 2,432 万円を取り崩し、現時点での 2021 年度末現在高見込額は 67 億 9,179 万円となります。

区 分	2019 年 度 末 現 在 高	2020 年 度 末 現 在 高 見 込 額	2021 年 度 中 増 減 見 込 み		2021 年 度 末 現 在 高 見 込 額
			当 該 年 度 中 積 立 額	当 該 年 度 中 取 崩 ・ 繰 戻 額	
	千円	千円	千円	千円	千円
財 政 調 整 基 金	7,876,144	9,016,052	58	2,224,316	6,791,794
公 共 施 設 整 備 基 金	5,621,077	5,715,565	36,279	1,566,000	4,185,844
緑 地 保 全 基 金	1,559,777	1,479,550	28	50,557	1,429,021
福 祉 基 金	77,820	76,513	2	—	76,515
職 員 退 職 手 当 基 金	1,296,789	1,580,089	—	—	1,580,089
介 護 保 険 給 付 費 金 準 備 基 金	2,738,941	2,518,405	1	400,000	2,118,406
廃棄物減量再資源化等推 進 整 備 基 金	2,031,638	1,988,134	552,067	956,402	1,583,799
まちだ未来づくり基金	103,440	115,825	86,990	27,508	175,307
多摩都市モノレール基金	500,083	750,181	16	—	750,197
まち・ひと・しごと創生基金	100	200	2,000	—	2,200
合 計	21,805,809	23,240,514	677,441	5,224,783	18,693,172

※ 2019 年度末現在高は、出納閉鎖時の（2020 年 5 月 31 日現在）現在高です。

※ 2020 年度末現在高は、3 月補正後時点の現在高です。

■基金の年度末現在高の推移（単位：百万円）



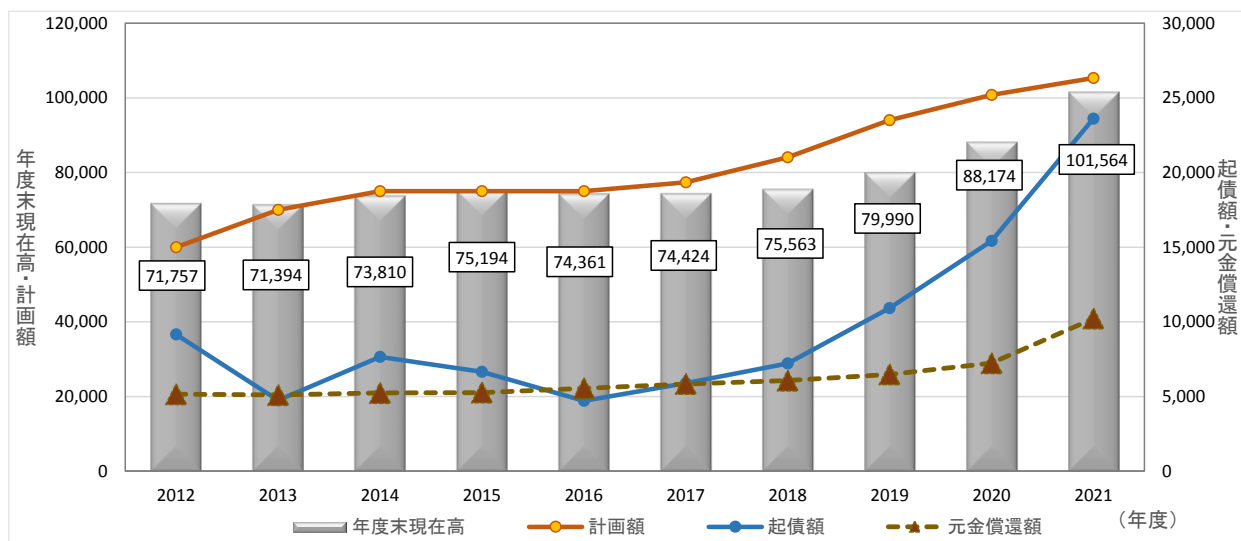
②市債の状況

一般会計の2021年度起債見込額は236億1,200万円となり、2021年度末の市債元金現在高見込額は1,015億6,352万円になります。

区 分	2019 年 度 末 現 在 高	2020 年 度 末 現 在 高 見 込 額	2021 年 度 中 増 減 見 込 み		2021 年 度 末 現 在 高 見 込 額
			当 該 年 度 中 起 債 見 込 額	当 該 年 度 中 元 金 償 還 見 込 額	
	千円	千円	千円	千円	千円
一 般 会 計	79,989,964	88,173,915	23,612,000	10,222,399	101,563,516
下 水 道 事 業 会 計	45,532,077	44,317,050	2,522,200	2,973,942	43,865,308
病 院 事 業 会 計	10,565,862	9,957,532	1,903,400	765,655	11,095,277
合 計	136,087,903	142,448,497	28,037,600	13,961,996	156,524,101

※2020年度末現在高は、3月補正後時点の現在高です。

■市債（一般会計）の年度末現在高等の推移（単位：百万円）



<参考>

【地方消費税交付金（社会保障財源分）】

2014年4月および2019年10月の地方消費税率の引上げに伴う交付金の増分は、以下の社会保障施策に要する経費の財源としています。

（単位：億円）

	2021 年度 予算額	うち一般財源	
		地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	
社会福祉	616.9	178.2	26.2
社会保険	167.4	146.5	21.5
保健衛生	32.7	28.4	4.2
合計	817.0	353.1	51.9

※地方消費税交付金（社会保障財源分）は、各経費に要する一般財源の比率に応じて活用しています。

3 町田市5ヵ年計画17-21における財政見通し（一般財源ベース）

町田市5ヵ年計画17-21 財政見通しの2021年度（令和3年度）計画額と、予算額との比較及び計画の進捗状況は以下のとおりです。

A		B	C	C-B	D		(単位：百万円)	
2017～2021年度 までの計画事業費		2021年度 (令和3年度) 計画額	2021年度 (令和3年度) 予算額	比較	計画の進捗状況 (2021年度まで：予算ベース)		D/A	
						予算額合計	進捗率	
歳入（一般財源）	450,206	91,392	92,056	664	457,361	101.6%		
市税	337,591	66,454	63,620	▲ 2,834	337,068	99.8%		
譲与税・交付金等	62,909	14,364	15,056	692	61,728	98.1%		
基金繰入金	19,391	4,931	3,790	▲ 1,141	19,151	98.8%		
その他	30,315	5,643	9,590	3,947	39,414	130.0%		
歳出（一般財源）	457,924	93,228	92,056	▲ 1,172	457,361	99.9%		
義務的経費	204,165	41,347	41,885	538	206,852	101.3%		
人件費	102,034	20,421	20,024	▲ 397	100,929	98.9%		
正規職員	88,312	17,661	16,830	▲ 831	86,287	97.7%		
うち退職手当【定年退職者分】	5,088	984	1,101	117	5,439	106.9%		
嘱託・臨時職員	13,722	2,760	3,194	434	14,642	106.7%		
扶助費	69,291	14,345	14,557	212	70,689	102.0%		
公債費	32,840	6,581	7,304	723	35,234	107.3%		
その他の経費	253,759	51,881	50,171	▲ 1,710	250,509	98.7%		
繰出金等	93,072	19,451	17,435	▲ 2,016	84,867	91.2%		
事業費	160,687	32,430	32,736	306	165,642	103.1%		
経常事業費	116,185	23,557	23,295	▲ 262	116,903	100.6%		
政策的事業費	33,167	6,606	7,162	556	36,284	109.4%		
1 将来を担う人が育つまちをつくる			1,568					
2 安心して生活できるまちをつくる			581					
3 賑わいのあるまちをつくる			743					
4 暮らしやすいまちをつくる			2,441					
5 行政経営改革プラン			280					
6 公共施設等維持保全事業			299					
7 その他政策的事業			1,250					
システム経費	11,335	2,267	2,279	12	12,455	109.9%		
歳入－歳出 (＝▲収支不足額)	▲ 7,718	▲ 1,836	0		0			

＜歳入＞

◇歳入については、計画額よりも6億6千万円の増となりました。

市税において、個人市民税が17億3千万円減、固定資産税が10億4千万円の減となる一方、その他において、臨時財政対策債が24億円の増となりました。

＜歳出＞

◇歳出については、計画額よりも11億7千万円の減となりました。

政策的事業費が5億6千万円の増、公債費が据置期間等の見直しに伴う元金償還費の増などにより7億2千万円の増となりました。一方で、繰出金等において、国民健康保険事業会計繰出金について、被保険者数の減などによる9億5千万円の減に加え、後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計がそれぞれ計画額を下回り、総額20億2千万円の減となりました。

4 2021 年度予算において重点的に取り組む事業

町田市 5 ヶ年計画 17-21 に位置付けられた事業

将来

将来を担う人が育つまちをつくる

安心

安心して生活できるまちをつくる

賑わい

賑わいのあるまちをつくる

暮らし

暮らしやすいまちをつくる

新規

全部もしくは一部が新たに実施する事業

拡充

事業の内容を拡充し行う事業

市民の生活や市内の経済活動を支える事業

拡充

新型コロナウイルス感染症対策関連事業

9,312 万円 (19 ページ)

発熱相談センター運営、地域外来・検査センターでの PCR 検査や入院患者の医療費支給など、新型コロナウイルス感染症対策関連事業を実施します。

循環型施設整備事業

暮らし

154 億 9,602 万円 (20 ページ)

循環型社会の構築に向け、町田市バイオエネルギーセンター（2022 年 1 月稼働）及び資源ごみ処理施設の整備を進めます。

町田第一中学校改築事業

将来

34 億 8,061 万円 (22 ページ)

2021 年 6 月の完成を目指し、新校舎の建設工事を行います。また、グラウンド及び外構整備工事を行います。

小・中学校体育館空調設備等設置事業

42 億 2,610 万円 (23 ページ)

小学校 35 校及び中学校 2 校の体育館空調設備設置工事を行います。併せて体育館照明の LED 化や非常用発電設備の設置を行います。

学童保育クラブ改修事業

将来

5,864 万円 (24 ページ)

老朽化及び狭あい化する学童保育クラブの環境改善に必要な改修工事を行います。

自殺防止総合事業

安心

300 万円 (25 ページ)

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、自殺リスクの高まりが懸念されていることに対応できるように、自殺対策を実施していきます。

がん予防対策推進事業

安心

2 億 1,747 万円 (26 ページ)

がんの早期発見・早期治療・予防を目的に、4 種類のがん検診等を実施します。

地域包括ケアシステムの深化・推進事業（介護保険事業会計）

1 億 2,473 万円 (27 ページ)

2021 年 4 月から始まる「(仮称) 町田市いきいき長寿プラン 21-23」に基づき、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組みます。

都市計画道路築造事業

暮らし

8 億 315 万円 (28 ページ)

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

尾根緑道改良事業**1 億 3,500 万円** (32 ページ)

円滑な通行を確保し、安全性の向上を図るとともに、緑道としての魅力向上を目的として、尾根緑道を再整備します。

路線バス利用促進事業 **暮らし****3,623 万円** (33 ページ)

小型バスによる小山田桜台・多摩南部地域病院間運行事業を実施します。

公共施設等維持保全事業**12 億 8,379 万円** (34 ページ)

施設の安全性の確保と財政負担の平準化を図るため、計画的に施設の長寿命化工事を行います。

公共施設等マネジメント事業**1,013 万円** (36 ページ)

公共施設再編計画に基づき、計画的かつ効果的に取り組みを推進するため、「(仮称)町田駅周辺公共施設再編構想」を 2022 年 3 月に策定します。

(仮称)都市づくりのマスタープラン策定事業**3,018 万円** (37 ページ)

町田市都市計画審議会からの最終答申後、パブリックコメント等を経て、新しいマスタープランを 2022 年 3 月に策定します。

環境マスタープラン策定事業**1,269 万円** (38 ページ)

社会状況の変化に対応しながら地球温暖化対策や生物多様性の保全を推進していくため、「第 3 次町田市環境マスタープラン」を 2022 年 2 月に策定します。

アフターコロナを見据えたデジタル化等の新たな課題に対応すべき事業**拡充** **教育の情報化推進事業** **将来****8 億 1,332 万円** (39 ページ)

学校の ICT 環境の充実を図り、ICT を活用した効果的な授業を実施するため、デジタルコンテンツの導入や ICT 授業支援員の拡充を行います。

新規 **デジタル化推進事業****1 億 4,950 万円** (40 ページ)

市民の利便性向上と市役所業務の生産性向上を目的に、電子申請の拡充や証明書発行手数料のキャッシュレス化等、行政のデジタル化を推進します。

まちの魅力向上につながる事業**子どもクラブ整備事業** **暮らし****2 億 3,879 万円** (42 ページ)

2022 年 3 月の開館に向けて、小山田中学校区子どもクラブの建設工事を行います。

えいごのまちだ事業 **将来****1 億 6,675 万円** (43 ページ)

「町田ならではの英語教育」を強力に推進し、町田の未来を支える人材を育成すると同時に、「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。

新規 **中学校給食センター整備事業****2,177 万円** (44 ページ)

中学生全員に安全・安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」の提供を早期に実現するため、「(仮称)町田市中学校給食センター整備基本計画」を策定します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

シティプロモーション推進事業 賑わい **5,002 万円** (45 ページ)

市民が愛着を持ち、市外からも人々を惹きつけるまちであり続けるために、引き続きシティプロモーションを推進し、まちだの魅力を市内外に発信します。

芹ヶ谷公園芸術の杜・(仮称) 国際工芸美術館整備事業 賑わい **1 億 1,152 万円** (46 ページ)

「町田の文化と自然に出会えるパークミュージアム」を実現するために、芹ヶ谷公園”芸術の杜”と、(仮称) 国際工芸美術館の一体的な整備を進めます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会推進事業 賑わい **1 億 4,364 万円** (48 ページ)

東京 2020 大会開催にあたり、海外代表チームのキャンプ受入れや、自転車ロードレース、聖火リレー、関連イベント等を開催し、まちを盛り上げます。

町田市文化プログラム推進事業 **1,065 万円** (50 ページ)

東京 2020 大会を契機に「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち」を目指し、国際版画美術館で浮世絵風景画展を開催します。

多摩都市モノレール延伸事業 暮らし **9,499 万円** (52 ページ)

町田駅周辺エリアのあり方等の検討を行います。また、東京都と協働で都市計画道路 3・4・11 号線の予備設計や調査測量を行います。

小田急多摩線延伸促進事業 暮らし **650 万円** (53 ページ)

小田急多摩線の延伸事業実施に向けた必要な調査を相模原市と共同で実施します。

鶴川駅周辺街づくり事業 賑わい **6 億 2,115 万円** (54 ページ)

「鶴川駅周辺整備基本方針」に基づき、北口交通広場の整備工事や南北自由通路の実施設計を行い、鶴川駅南土地区画整理事業では、換地設計を進めます。

相原駅周辺街づくり事業 暮らし **3 億 7,190 万円** (56 ページ)

相原駅周辺のまちづくりの推進のため、駅前広場整備の検討を進めるとともに、相原駅東口周辺道路の整備を進めます。

南町田拠点創出まちづくりプロジェクト事業 賑わい **2,050 万円** (57 ページ)

南町田グランベリーパークの魅力的な運営に官民連携で取り組むとともに、第二期整備に向け複合利用ゾーン等の計画検討を進めます。

(仮称) 玉川学園前駅デッキ整備事業 安心 **2 億 7,783 万円** (58 ページ)

2021 年 9 月の使用開始に向けて、玉川学園前駅デッキの整備を行います。

野津田公園スポーツの森整備事業 賑わい **2 億 9,344 万円** (59 ページ)

2022 年 4 月の使用開始に向けて、多目的グラウンド及びクラブハウス等の整備工事を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

中心市街地整備事業 賑わい **350 万円** (60 ページ)

「個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト」の実現のため、原町田中央通りデザインガイドラインを策定し、運用体制を整えます。

中心市街地活性化推進事業 賑わい **1,838 万円** (61 ページ)

株式会社町田まちづくり公社と共に、原町田大通りの利活用に向けた社会実験を行い、人の流れや活動の変化、周辺への波及効果などを検証します。

香山緑地整備事業 賑わい **1 億 8,866 万円** (62 ページ)

鶴川地域の観光拠点の一つとするため、2020 年度に引き続き、香山緑地の基盤整備工事を行います。

温浴施設整備事業 安心 **7 億 108 万円** (63 ページ)

新たな熱回収施設で発生する熱エネルギーを有効活用し、幅広い世代の健康増進と交流を図るため、2022 年 4 月の開館に向けて、温浴施設を整備します。

忠生スポーツ公園整備事業 **1,800 万円** (64 ページ)

最終処分場等の上部を忠生スポーツ公園として活用するため、土砂受け入れに必要な盛土・排水設計委託や搬入路の舗装工事を行います。

スポーツをする場の環境整備事業 賑わい **4 億 6,743 万円** (65 ページ)

市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、2022 年 4 月の供用開始に向けて、成瀬鞍掛スポーツ施設の整備工事を行います。

無電柱化推進事業 賑わい **4,105 万円** (66 ページ)

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、原町田中央通り、町田 623 号線の無電柱化を進めます。

新規 **里山環境整備事業** 賑わい **1,696 万円** (67 ページ)

「(仮称) 町田市里山環境活用保全実行計画」を策定します。また、相原町地内の山林及び里山環境の再生・保全を図ります。

拡充 **新商品・新サービス開発支援事業** **1,285 万円** (68 ページ)

補助対象者及び対象経費等の補助内容を拡充し、市内事業者の競争力の強化と付加価値の向上を図ります。

考古・歴史・民俗資料活用事業 **1,125 万円** (69 ページ)

インターネット上で考古・歴史・民俗資料を閲覧できるシステム「町田デジタルミュージアム」を、2022 年 4 月の全面公開に向けて構築します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件 名		新型コロナウイルス感染症対策関連事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
93,123		32,109	29,680	0	0	31,334
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 166、168 ページ		
新型コロナウイルス感染症の発生を受けて、町田市ではこれまで2020年2月に「帰国者・接触者電話相談センター」を設置し、2020年12月からは「町田市発熱相談センター」として運営を行っています。また、2020年4月からは「地域外来・検査センター」にてPCR検査を実施しているところです。						
2021年度においても、引き続き、市民の安全・安心な暮らしを支えるため、新型コロナウイルス感染症対策関連事業を実施していきます。						
【事業の内容】						
①新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、発熱相談センターを運営します。						
受付時間	平日 午前9時から午後5時					
②検査体制の強化、感染拡大防止のため、引き続き、地域外来・検査センターを運営します。						
対象者	町田市民(事前に市内の診療所で医師に紹介された方)					
場所	町田市医師会第二駐車場(町田市森野3-13)					
実施時間	平日 午後1時30分から4時30分					
③新型コロナウイルス感染症患者の指定医療機関等への移送及び検体を検査機関へ搬送します。						
④日本に帰国した町田市在住の方及び濃厚接触者等への健康観察を行います。						
⑤入院勧告を実施した患者に対して、感染症法に基づき医療費を支給します。						
⑥陽性者が発生した店舗等に対して休業の要請等を行い、当該店舗等が10日間以上休業した場合に協力金(50万円)を支給します。						
【事業費】						
①発熱相談センター委託料		5,507千円				
②地域外来・検査センター委託料		42,955千円				
③患者移送料		6,125千円				
③検体搬送料		2,041千円				
④健康観察対応委託料		21,176千円				
⑤医療費助成費[国制度]		11,058千円				
⑤感染症診査協議会委員報酬		1,250千円				
⑤事務処理等委託料		11千円				
⑥新型コロナウイルス感染拡大防止協力金		3,000千円				
【特定財源】						
②③感染症対策費負担金(国1/2)		23,817千円				
⑤感染症医療費負担金(国3/4)		8,292千円				
①④⑥区市町村共同感染拡大防止対策推進事業費補助金(都10/10)		29,680千円				
問合せ先	保健所 保健総務課長 樋口 保健予防課長 上田			電話	724-4241 724-4239	

件 名	循環型施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
15,496,021		4,271,846	302,235	8,640,000	1,470,430	811,510

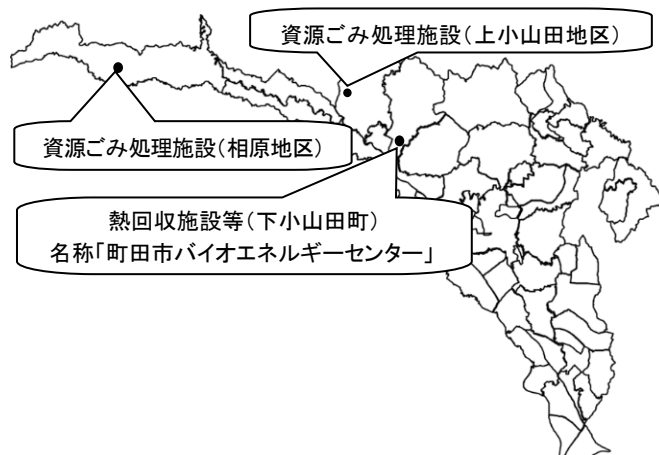
【事業の背景・目的】

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、老朽化したごみ処理施設に代わり、新たなごみの資源化施設を分散して配置するものです。

熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）を町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック、ビン、カン等）を市内 2 箇所（相原地区、上小山田地区）に整備します。

Ⅱ 部別予算概要説明書 201 ページ

新たなごみの資源化施設位置図



【事業の内容】

1 熱回収施設等

2020 年度に引き続き、工場棟・管理棟の工事を行い、プラント設備の製作、据付を完了し、2022 年 1 月から稼働します。

<事業概要>

事業名	町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業
施設名称	町田市バイオエネルギーセンター
建設地	下小山田町 3160 番地（町田リサイクル文化センター敷地内）
面積	敷地面積：約 77,000 m ² 延床面積：工場棟約 17,000 m ² 、管理棟約 5,200 m ²
事業方式	施設の設計・建設・解体及び約 20 年間の運営を包括的に委託する DBO 方式
業務概要	施設整備業務：設計・建設・解体（既存施設）（2016 年 12 月～2024 年 6 月） 施設運営業務：運営管理・維持管理（2022 年 1 月～2041 年 3 月）
施設概要	熱回収施設（焼却施設）：ストーカ方式 258t/日（129t/日 × 2 炉） バイオガス化施設：乾式高温メタン発酵 50t/日 不燃・粗大ごみ処理施設：機械選別・手選別 47t/5h



現況写真（2020 年 12 月現在）



完成イメージ図（2022 年 1 月稼働）

<スケジュール>

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	～2040
熱回収施設等										
		設計		施設整備工事			★ 稼働	運営		
		造成工事					既存工場棟解体工事 ストックヤード棟整備等			
		旧管理棟等 解体工事								

2 資源ごみ処理施設(相原地区及び上小山田地区)

2021 年度は、資源ごみ処理施設整備に向けた測量や法令手続きを行います。

【主な事業費】

1 熱回収施設等

整備工事費(熱回収施設等) 14,637,394 千円

(2016～2040 年度債務負担行為事業 総事業費 46,443,618 千円 ※) ※運営費含む

(2019～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 1,485,198 千円)

(2021～2022 年度債務負担行為事業 総事業費 229,190 千円)

工事監理委託料(熱回収施設等) 33,820 千円

(2016～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 287,280 千円)

特別高圧受電線引込負担金(熱回収施設等) 229,950 千円

(2017～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 624,950 千円)

2 資源ごみ処理施設

物件等補償料 (相原地区) 200,000 千円

用地購入費 (相原地区) 180,000 千円

測量委託料 (上小山田地区) 19,137 千円

【主な特定財源】

循環型社会形成推進交付金(国 1/2・1/3) 4,271,846 千円

市町村総合交付金(都) 290,000 千円

廃棄物処理施設整備事業債 8,640,000 千円

公共施設整備基金繰入金 1,031,000 千円

廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金 439,430 千円

問合せ先

環境資源部 循環型施設整備課長 田中

電話

724-4384

件 名	町田第一中学校改築事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,480,611		376,360	350,000	2,277,000	200,000	277,251

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 258、259 ページ

町田第一中学校は建築後60年近くが経過しており、老朽化による学習環境の悪化を解消するため、2021年度2学期授業開始時からの新校舎の使用、2022年3月から校庭も含めた全体使用の開始を目指し、改築を実施しています。

新校舎は、将来の生徒数減少などの環境変化に合わせて、建物内の間取り変更などに柔軟に対応し、学校以外の施設機能を備えた弾力的な空間構成を持つ構造とします。2階の交流ホールや武道場、図書室、音楽室などの特別教室を地域に開放することを想定し、市民利用型の最も身近な公共施設を目指します。また、太陽光発電設備など再生可能エネルギーや雨水利用、建物の断熱性能を高めることによる環境負荷の軽減を図ります。

【事業の内容】

2021年度は、2020年度に引き続き、2021年6月の完成を目指し、新校舎の建設工事を行います。また、新校舎の使用開始に向けて、消耗品や備品の購入、引越し等の準備を進めます。新校舎使用開始後には、仮設校舎を解体し、校庭及び外構整備工事をを行います。

なお、外構整備工事が完了するまで校庭が使用できないため、後田グラウンド及び町田第一中学校中町グラウンドについて2021年度末まで引き続き使用します。

○校舎等予定規模 延べ床面積 約11,000 m² RC造 3F(一部4F)

普通教室(普通学級24+特別支援学級7)31、特別教室14、武道場1、管理諸室等

【スケジュール】

年度 月	2019												2020												2021												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
校舎改築	← 既存校舎解体・新校舎建設 →																																	新校舎使用開始			
仮設校舎	← 使用期間 →																																				
校庭・外構整備																																		← 整備 →	全体使用開始		
後田グラウンド	← 使用期間 →			グラウンド整備			← 使用期間 →																														
中町グラウンド	← 使用期間 →																																				

【主な事業費】

【主な特定財源】

校舎建設工事費	2,925,034 千円	学校施設環境改善交付金(国 1/3)	376,360 千円
校庭整地工事費	239,101 千円	学校施設整備事業債	2,277,000 千円
消耗品費・備品購入費	18,765 千円		

問合せ先	学校教育部 施設課長 浅沼 教育総務課長 田中	電話	724-2174 724-2172
------	----------------------------	----	----------------------

件 名	小・中学校体育館空調設備等設置事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
4,226,096		634,851	1,058,125	2,207,000	149,000	177,120

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 259 ページ

近年、夏季に著しく気温が上昇するだけでなく、厳しい暑さが5月頃の早い時期から9月末まで続く傾向が強まっています。そのため、市内の小・中学校では児童・生徒の熱中症対策のため、体育館での授業や部活動、1学期の終業式や2学期の始業式を見合わせるなど、教育活動に影響が生じています。また、災害時に地域住民が小・中学校の体育館に避難することを想定すると、熱中症発症が懸念される厳しい環境です。

このような状況で、市では2019年度から市内の小・中学校の体育館に空調設備の設置を進め、2020年度には中学校18校、小学校7校へ設置を行いました。引き続き、2021年度は、中学校2校、小学校35校の体育館に空調設備を設置します。

また、本工事に合わせて、体育館照明のLED化や非常用発電設備を設置することを目的とした、避難施設機能向上工事を実施します。

【事業の内容】

2021年度中に中学校2校、小学校35校の体育館に空調設備設置工事及び避難施設機能向上工事を行います。これにより、市内全ての小・中学校の体育館空調設備設置工事及び避難施設機能向上工事が完了します。

○2021年度設置校

中学校 2校：町田第一中学校、成瀬台中学校

小学校 35校：2020年度に設置した7校(※)を除く35校

(※)成瀬台小、大蔵小、相原小、町田第二小、南大谷小、小川小、忠生第三小

【スケジュール】

年度	2021												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
体育館空調設備 避難施設機能向上		●	契約	●	工事期間 (体育館空調、避難施設機能向上)								●

【事業費】

整備工事費 4,088,500 千円

工事監理委託料 137,596 千円

【特定財源】

学校施設環境改善交付金(国 1/3) 634,851 千円

公立学校屋内体育施設空調設置支援事業補助金(都) 808,125 千円

市町村総合交付金(都) 250,000 千円

学校施設整備事業債 2,207,000 千円

公共施設整備基金繰入金 149,000 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 浅沼	電話	724-2174
------	---------------	----	----------

件 名		学童保育クラブ改修事業										
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源						
58,640		5,716	25,833	16,000	0	11,091						
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 182 ページ								
学童保育クラブを利用するすべての児童が、安全かつ安心して生活する環境を整えるため、「町田市 5 カ年計画 17－21」、「新・町田市子どもマスタープラン」に基づき、老朽化、狭あい化する学童保育クラブの環境を改善します。												
【事業の内容】												
①大蔵小学校区学童保育クラブ老朽化改修工事												
老朽化が進む学童保育クラブについて、トイレの増設（男女別化）、床の張り替え、児童用ロッカーの修繕等の改修を行い、遊びと生活の場としてふさわしい良好な育成環境を確保します。												
施設情報	施設名称		設置場所		建築年月							
	大蔵学童保育クラブ		小学校敷地内		2000 年 3 月							
②南第四小学校区学童保育クラブ教室改修工事												
狭あい化する学童保育クラブについて、教室改修工事（空調設備設置等）をすることで、新たに育成スペースを確保します。												
施設情報	施設名称		改修内容		定 員							
					（改修前）	（改修後）						
	どろん子学童保育クラブ		教室内の空調設備設置等		112 名	156 名						
【スケジュール】												
小学校名	2021 年度											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
①大 蔵 小				実施設計				老朽化改修工事				
②南第四小	教室改修工事											
【主な事業費】												
①大蔵小学校区学童保育クラブ												
改修工事費			34,833 千円									
工事監理委託料			4,674 千円									
実施設計委託料			2,907 千円									
②南第四小学校区学童保育クラブ												
改修工事費			5,148 千円									
【主な特定財源】												
①②子ども・子育て支援交付金（国 1/3）			5,716 千円									
①②子ども・子育て支援交付金（都 1/3）			5,716 千円									
①②子ども家庭支援区市町村包括補助金（都 1/2）			15,206 千円									
①②社会福祉施設整備事業債			16,000 千円									
問合せ先		子ども生活部 児童青少年課長 早出			電話	724-2182						

件 名		自殺防止総合事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
3,000		0	1,800	0	0	1,200	

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 167 ページ

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞などから、自殺のリスクの高まりが懸念されており、全国的にも 2020 年 10 月には昨年同月比(40%増)の 2,153 人が亡くなっており、増加傾向が見られます。東日本大震災やリーマンショックの際も、暫くしてから自殺者が急増したことから、自殺対策を強化する必要があります。

町田市では、2019 年 3 月に策定した「町田市自殺対策計画」に基づき事業を実施していますが、今般の状況を受け、市民の誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、効果的な自殺防止対策を講じていきます。

【事業の内容】

実施事業	対象者	実施方法
①自殺対策推進協議会	委嘱を受けた委員	協議会開催
②オンラインゲートキーパー養成講座	市民・地域ネットワーク・教職員・専門職兼フォローアップ	YouTube による動画配信
③自殺対策関連ネット検索対応事業	市民	インターネット検索を通じた悩みの相談 先の掲出及びメールによる相談
④総合相談会	市民	相談員との対面相談

【スケジュール】

	2021年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①自殺対策推進協議会		第1回開催							第2回開催			
②オンラインゲートキーパー養成講座	市民向け講座 動画配信		地域ネットワーク向け講座 動画配信			教職員向け講座 動画配信			専門職及びフォローアップ向け講座動画配信			
③自殺対策関連ネット検索対応事業	自殺対策関連ネット検索広告掲出											
						メール相談						メール相談
④総合相談会						相談会						相談会

【事業費】

①自殺対策推進協議会委員謝礼	386 千円
②オンラインゲートキーパー養成講座実施委託料	264 千円
③自殺対策関連ネット検索対応事業委託料	1,800 千円
④総合相談会運営事業委託料	550 千円

【特定財源】

①医療保健政策包括補助事業費補助金(都 1/2)	193 千円
②③④地域自殺対策強化交付金(都②1/2、③2/3、④1/2)	1,607 千円

問合せ先	保健所 健康推進課長 峰岸	電話	724-4236
------	---------------	----	----------

件 名		がん予防対策推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
217,467		5,422	57	0	0	211,988

【事業の背景・目的】

町田市民の死因第 1 位であるがんは、患者自身の身体的な苦痛だけでなく、自身や家族にとっての精神的な苦痛や経済的な負担を伴うことから、市民にとって脅威です。住み慣れた地域でいつまでも健康的な生活を送るために、がんの予防や早期発見、早期治療が必要です。

2020 年度に引き続き、町田市では、がんを予防するための胃がんリスク検診や、がんを早期発見するための大腸・乳・子宮頸の各がん検診を実施します。また、より多くの方に受診していただくため、受診勧奨を始めとしたがん予防の普及活動を行います。

【事業の内容】

各種がん検診等を引き続き実施するとともに、主に、働き盛り世代に対して、個別受診勧奨はがきの送付を行い、継続的な受診率向上につなげます。

検診項目	対象者	自己負担金	実施医療機関数	個別受診勧奨はがき送付時期（予定）
①胃がんリスク検診	30 歳以上男女	800 円	約 140 か所	7 月
②大腸がん検診	40 歳以上男女	800 円（500 円※）	約 150 か所	7 月、10 月（再）
③乳がん検診	40 歳以上偶数年齢女性	2,000 円	12 か所	4 月、9 月（再）
④子宮頸がん検診	20 歳以上偶数年齢女性	1,000 円	18 か所	5 月、8 月（再）

※「町田市健康診査」またはその他の保険者等が実施する「特定健康診査」に相当する健康診断と、大腸がん検診の問診を同時に受けた場合

【スケジュール】

	各種がん検診等実施期間											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
①胃がんリスク検診												
②大腸がん検診												
③乳がん検診												
④子宮頸がん検診												

【事業費】

①胃がんリスク検診委託料 16,614 千円

②大腸がん検診委託料 79,057 千円

③乳がん検診委託料 57,584 千円

④子宮頸がん検診委託料 50,307 千円

⑤肺がん検診検討会委員謝礼 114 千円

⑥消耗品費 77 千円

⑦印刷製本費 4,919 千円

⑧郵便料 8,795 千円

【特定財源】

⑦⑧健康増進対策費補助金（国 1/2） 5,422 千円

⑤医療保健政策包括補助金（都 1/2） 57 千円

問合せ先

保健所 健康推進課長 峰岸

電話

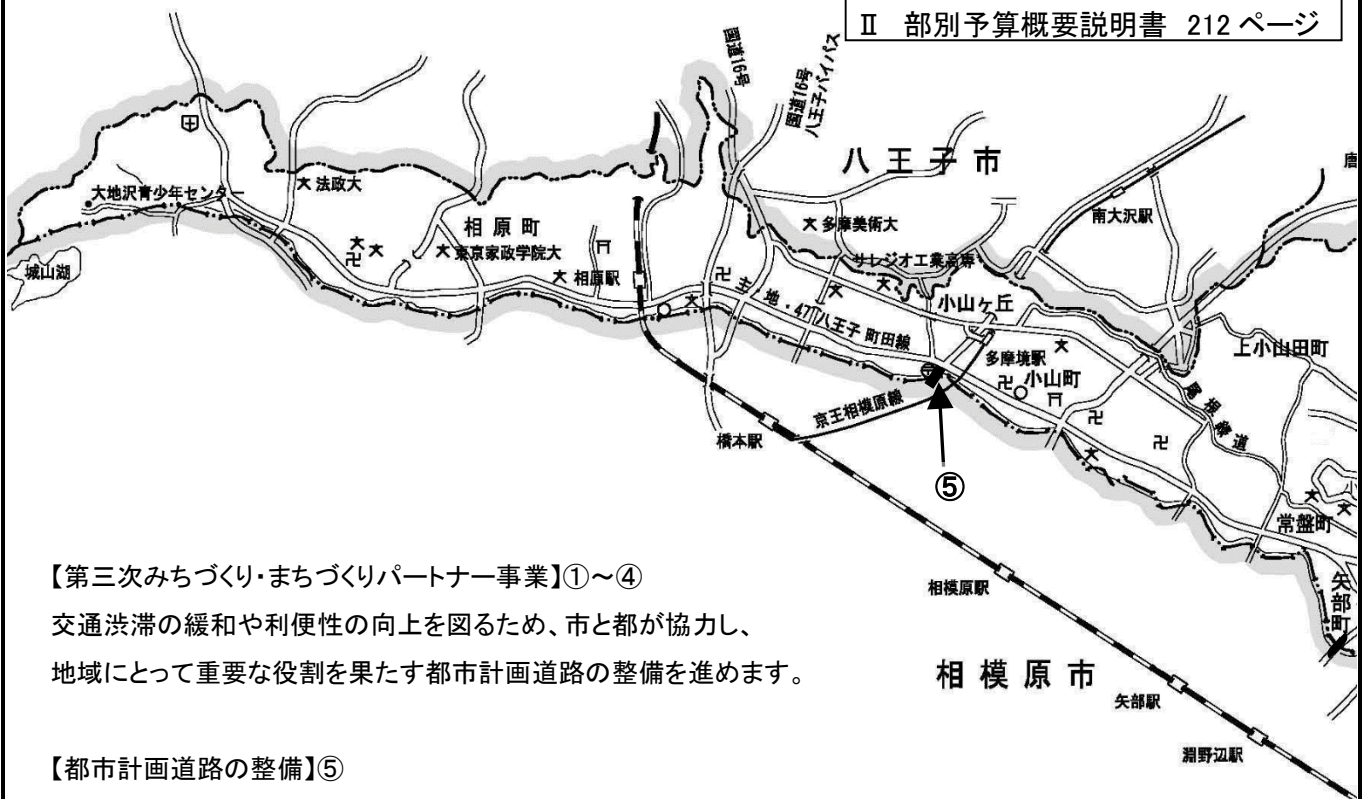
725-5178



件 名		地域包括ケアシステムの深化・推進事業（介護保険事業会計）				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
124,734		43,603	21,134	0	42,827	17,170
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 160 ページ		
市では 2021 年 4 月から 2023 年 3 月を期間とする「（仮称）町田市いきいき長寿プラン 21-23（高齢者福祉計画・介護保険事業計画－第 8 期－）」を策定しました。本計画の基本理念「高齢者の尊厳が守られ、人生の豊かさが実感できるまち～地域で支え合い健やかで自分らしさを感じられるまちの実現～」の実現に向け、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組めます。						
1 介護予防・健康づくりのための通いの場の充実						
【事業の内容】						
(1)「町トレ」を始めとした、介護予防に資する活動を自主的に行うグループの立ち上げや活動継続を支援します。						
(2)「フレイルチェック会」の実施など、介護予防の取組に保健医療職の支援を取り入れ、より効果的な介護予防・フレイル対策を推進します。						
【主な事業費】						
地域介護予防推進員事業業務委託			68,400 千円			
リハビリテーション専門職派遣事業（「町トレ」）委託料			3,698 千円			
「フレイルチェック会」委託料			2,468 千円			
【主な特定財源】						
介護予防・日常生活支援総合事業交付金（国 20/100・都 12.5/100）			32,975 千円			
広域連合特別調整交付金			2,427 千円			
2 認知症とともに生きるまちづくりの推進						
【事業の内容】						
「認知症とともに生きるまち」を目指し、認知症の人やその家族の視点を重視した地域づくりを推進します。また、認知症電話相談や認知症初期集中支援チーム事業等により、認知症の早期対応・受診を支援します。						
【主な事業費】						
認知症初期集中支援事業委託料			5,205 千円			
認知症等による行方不明高齢者探索サービス委託料			4,481 千円			
認知症の人やその家族に対する支援事業委託料			2,998 千円			
認知症サポーター養成講座委託料			2,649 千円			
【主な特定財源】						
包括的支援事業交付金（国 38.5/100・都 19.25/100）			8,855 千円			
任意事業交付金（国 38.5/100・都 19.25/100）			4,118 千円			
問合せ先	いきいき生活部 高齢者福祉課長 川島 高齢者福祉課地域支援担当課長 江成			電話	724-2146 724-2140	

件 名	都市計画道路築造事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
803,147		36,000	48,000	78,000	558,872	82,275

Ⅱ 部別予算概要説明書 212 ページ



【第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業】①～④

交通渋滞の緩和や利便性の向上を図るため、市と都が協力し、地域にとって重要な役割を果たす都市計画道路の整備を進めます。

【都市計画道路の整備】⑤

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

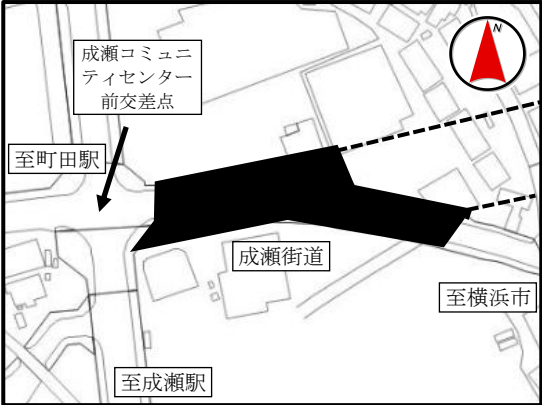
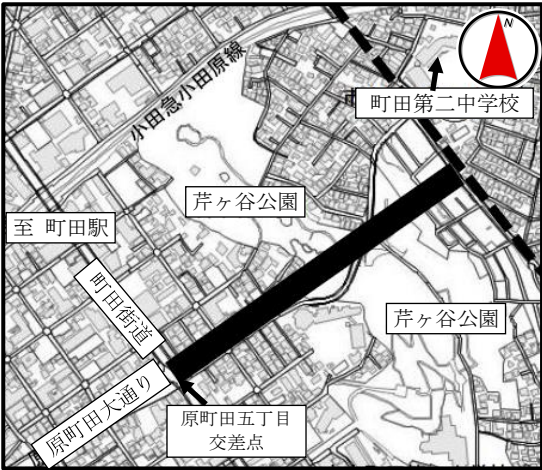
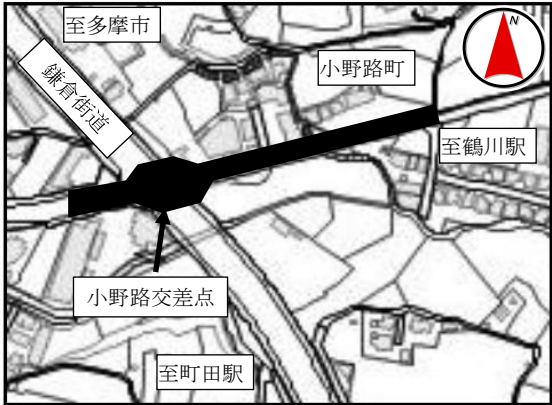
【鶴川駅周辺のまちづくりの推進】⑥

鶴川駅周辺の安全で便利な交通と快適でにぎわいのある駅前空間を実現するため、北口交通広場の再編を行います。

単位：千円

箇所番号	個別事業名	事業費	事業内容
①	都計道3・3・7(成瀬) 【成瀬街道】	88,720	【第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 都との協働事業で、成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を行います。2021年度は詳細設計と物件調査等を行います。
②	都計道3・4・11(原町田) 【原町田大通り】	88,000	【第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 都との協働事業で、町田街道の原町田五丁目交差点から都計道3・3・36号線までの整備を行います。2021年度は予備設計と物件調査等を行います。
③	都計道3・4・22(小野路) 【大蔵小野路線】	376,152	【第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 都との協働事業で、小野路交差点付近の整備を行います。2021年度は詳細設計と用地取得等を行います。
④	都計道3・4・38(木曽東) 【町田街道】	6,000	【第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 都との協働事業で、木曽交差点付近の整備を行います。2021年度は電線共同溝の点検を行います。
⑤	都計道3・4・41(小山) 【多摩ニュータウン通り】	79,875	多摩ニュータウン通りの延伸部の整備を行います。2021年度は橋梁工事(相模原市施行)を行います。
⑥	鶴川駅北口交通広場	164,400	鶴川駅北口交通広場の整備を行います。2021年度は電線共同溝工事と詳細設計等を行います。



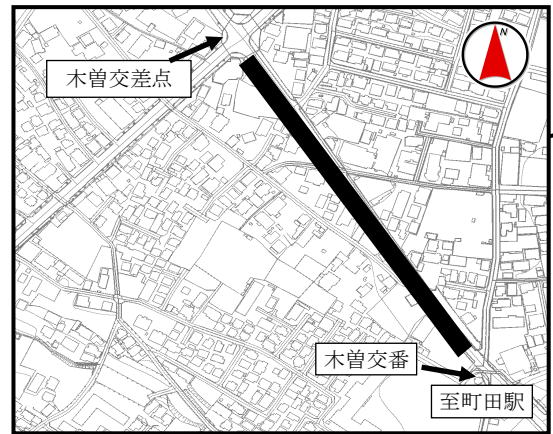
件 名		都市計画道路築造事業
①都計道 3・3・7(成瀬)【成瀬街道】 2026 年度の使用開始を目標として、成瀬街道の成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。 2021 年度は用地取得と詳細設計等を行います。		
【主な事業費】	調査等委託料	38,100 千円
	(物件調査・積算)	
	用地購入費	29,850 千円
【特定財源】	詳細設計委託料	8,000 千円
	東京都受託事業収入	88,720 千円
②都計道 3・4・11(原町田)【原町田大通り】 (「多摩都市モノレール延伸事業(52 ページ)」から再掲) 2026 年度の使用開始を目標として、町田街道の原町田五丁目交差点から都計道 3・3・36 号線までの整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。 2021 年度は用地取得と予備設計等を行います。		
【主な事業費】	調査等委託料	33,000 千円
	(物件調査・積算)	
	予備設計委託料	27,000 千円
【特定財源】	東京都受託事業収入	88,000 千円
③都計道 3・4・22(小野路)【大蔵小野路線】 2026 年度の使用開始を目標として、鎌倉街道の小野路交差点付近の整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。 2021 年度は用地取得と詳細設計等を行います。		
【主な事業費】	物件等補償料	198,300 千円
	用地購入費	101,546 千円
	詳細設計委託料	15,000 千円
【特定財源】	東京都受託事業収入	376,152 千円

④都計道 3・4・38(木曽東)【町田街道】

町田街道の木曽交差点から木曽交番前までの整備を都から受託し、整備を行います。

2021 年度は電線共同溝の点検を行います。

【事業費】	機器等保守点検委託料	6,000 千円
【特定財源】	東京都受託事業収入	6,000 千円

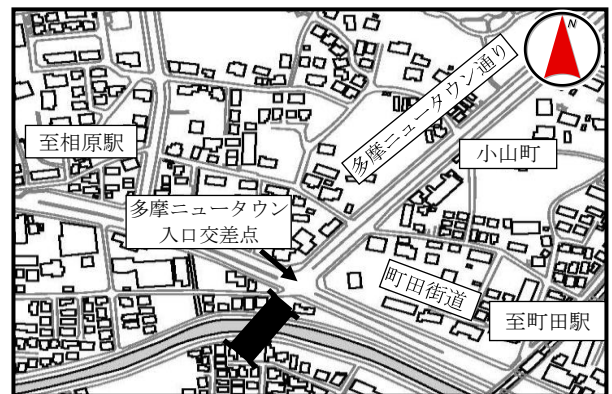


⑤都計道 3・4・41(小山)【多摩ニュータウン通り】

相模原市方面のアクセス向上及び町田街道の渋滞を解消するために、本路線の整備を行います。

2021 年度は橋梁工事をを行います。

【主な事業費】	整備等負担金(橋梁工事(相模原市施工))	79,875 千円
【特定財源】	都市計画費補助金(都 1/2)	30,000 千円
	都市計画事業債	40,000 千円



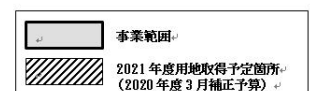
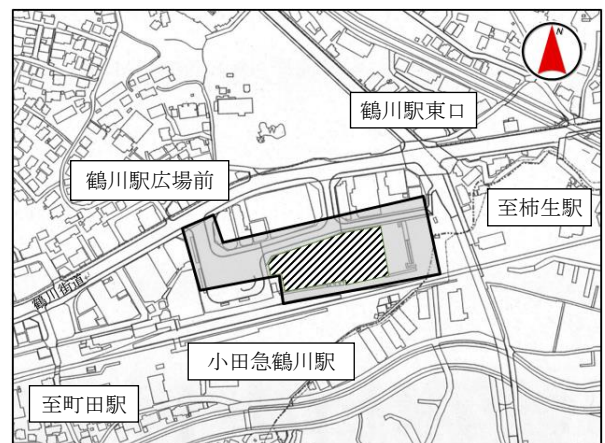
⑥鶴川駅北口交通広場

(「鶴川駅周辺街づくり事業(54 ページ)」から再掲)

都市基盤整備により駅前としての土地利用の増進や都市防災機能の向上等を進め、交通便利と生活環境等の改善を図ります。

2021 年度は電線共同溝工事と道路等の詳細設計を行います。

【主な事業費】	整備工事費	139,500 千円
	詳細設計委託料	22,500 千円
【特定財源】	社会資本整備総合交付金(国 1/2)	36,000 千円
	都市計画費補助金(都 1/4)	18,000 千円
	都市計画事業債	38,000 千円



問合せ先

道路部 道路整備課長 岩岡

電話

724-1122

件 名	尾根緑道改良事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
135,000		0	38,000	87,000	0	10,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 210 ページ

尾根緑道は、遊歩道やサイクリングロード等が整備され自然とのふれあいを楽しむことができる大規模緑道として市民に親しまれてきました。しかし、本路線は相互通行でありながら車道幅員が狭く、車両のすれ違いトラブルが発生するなど、現在の交通量に対応した道路となっていない状況です。円滑な通行を確保し、歩行者の安全性向上と緑道としての魅力向上を図るため、尾根緑道の再整備を行います。

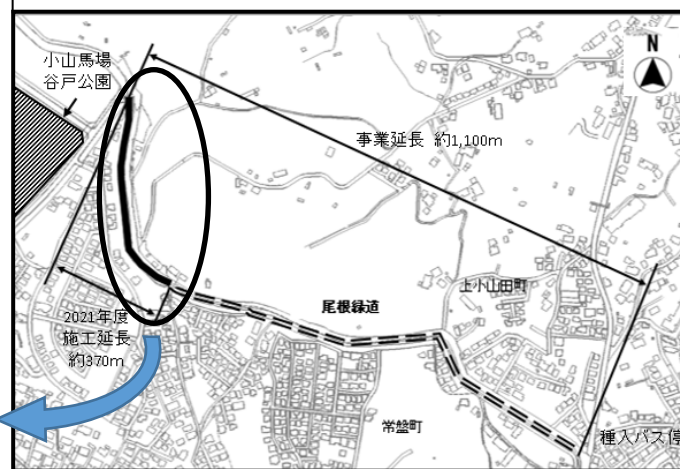
【事業の内容】

- ・尾根緑道（忠生 732 号線）の整備を行います。
事業延長 約 1,100m
- ・2021 年度は整備工事を実施します。
（施工延長 約 370m）
- ・2023 年度末の使用開始予定
（車道部は 2022 年度末）

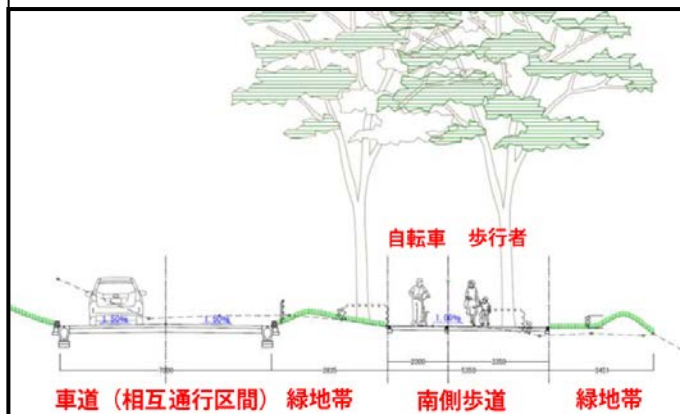
完成イメージ図（2021 年度施工箇所）



尾根緑道（忠生 732 号線）案内図



標準的な断面図（左図の矢印方向からみたもの）



【事業費】

整備工事費 135,000 千円

【特定財源】

道路橋梁費補助（都 1/2） 38,000 千円
道路整備事業債 87,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 岩岡	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名	路線バス利用促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
36,233		0	0	0	27	36,206

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 221 ページ

町田市は、鉄道駅が市域の外縁部に位置していることから、路線バスが鉄道駅までの交通手段として大きな役割を担っています。特に、町田駅は多くのバス路線が集中し、利用者も多く、都内でも有数のバスの拠点となっています。

一方で、市内には交通空白地区が点在し、その解消を目的として小山田地区では 2017 年 12 月から、将来の路線バス化を目指して小山田桜台・多摩南部地域病院間のバス運行を実施しています。

2019 年 8 月には、利用者数増加のため運行車両をワゴン車から小型バスに変更し、通勤や通学の交通手段として地域に定着しています。

【事業の内容】

将来的なバス事業者の自主運行による新規路線導入を目指し、引き続き小型バスによる小山田桜台・多摩南部地域病院間運行事業を実施します。また、利用者数増加に向けた取り組みを実施します。

【事業費】

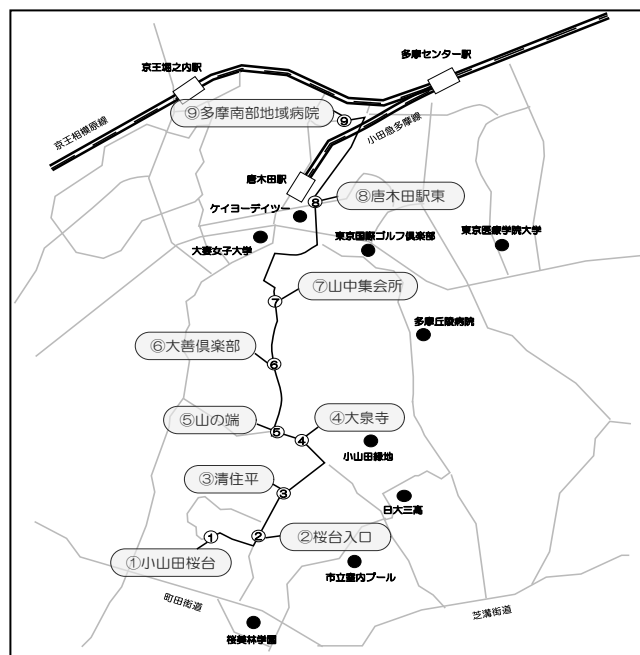
路線バス新規路線導入実証実験運行事業補助金（小山田桜台ルート） 36,206 千円
市役所市民ホール前バス案内板使用通信費 27 千円

【特定財源】

広告掲載料（市役所市民ホール前バス案内板） 27 千円



小型バス



運行区間とバス停

問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 須田	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

件 名		公共施設等維持保全事業																												
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																								
1,283,792		89,804	27,780	814,000	102,846	249,362																								
【事業の背景・目的】 Ⅱ 部別予算概要説明書 99、209、224、259 ページ 町田市の公共施設は、その半数以上が 30 年以上経過しており、老朽化した施設の安全性を確保し、快適に使用できるよう維持保全する必要があります。 2018 年度に策定した町田市公共施設再編計画では、過去 4 年間(2013～2016 年度)で市が支出した建築物の維持管理費用は、1 年間に平均すると事業費で約 54 億円でしたが、今ある施設をこのまま維持した場合、2018 年度から 2055 年度までの 38 年間では、1 年間で事業費を約 89 億円要し、仮に現在と同程度の維持管理費用を今後も捻出できたとしても、単年度あたり約 35 億円もの維持管理費用が不足すると試算しています。 町田市では多くの施設が築後 20 年～30 年を越え、大規模改修が必要な時期を迎えています。 このため、維持していく建物については施設建築年数や施設劣化状況をふまえ計画的に改修を行い、施設の安全性の確保や、財政負担の平準化を図ります。 【主な事業の内容】 1 市有建築物全般 <市民ホール(1972 年築)> 老朽化が進んでいる電気設備、空気調和設備、給排水衛生設備、舞台機構等を改修します。工事及び休館については以下の期間を予定しています。 工事予定期間 2021 年 10 月～2022 年 12 月 休館予定期間 2021 年 11 月～2023 年 1 月 <table><tr><td>【事業費】</td><td>改修工事費</td><td>360,139 千円</td></tr><tr><td></td><td>(2021～2022 年度債務負担行為事業 総事業費</td><td>947,448 千円)</td></tr><tr><td>【特定財源】</td><td>文化施設整備事業債</td><td>270,000 千円</td></tr><tr><td></td><td>公共施設整備基金繰入金</td><td>50,000 千円</td></tr></table>  <市民ホール> <大賀藕絲館(1990 年築)> 老朽化が進んでいる外壁、電気設備、空気調和設備、給排水衛生設備等を改修します。工事期間中、施設は一時的に休館する予定です。 工事予定期間 2021 年 7 月～2022 年 3 月 <table><tr><td>【事業費】</td><td>改修工事費</td><td>199,127 千円</td></tr><tr><td></td><td>工事監理委託料</td><td>15,329 千円</td></tr><tr><td>【特定財源】</td><td>障がい者福祉施設整備事業債</td><td>171,000 千円</td></tr><tr><td></td><td>公共施設整備基金繰入金</td><td>20,000 千円</td></tr></table>  <大賀藕絲館>							【事業費】	改修工事費	360,139 千円		(2021～2022 年度債務負担行為事業 総事業費	947,448 千円)	【特定財源】	文化施設整備事業債	270,000 千円		公共施設整備基金繰入金	50,000 千円	【事業費】	改修工事費	199,127 千円		工事監理委託料	15,329 千円	【特定財源】	障がい者福祉施設整備事業債	171,000 千円		公共施設整備基金繰入金	20,000 千円
【事業費】	改修工事費	360,139 千円																												
	(2021～2022 年度債務負担行為事業 総事業費	947,448 千円)																												
【特定財源】	文化施設整備事業債	270,000 千円																												
	公共施設整備基金繰入金	50,000 千円																												
【事業費】	改修工事費	199,127 千円																												
	工事監理委託料	15,329 千円																												
【特定財源】	障がい者福祉施設整備事業債	171,000 千円																												
	公共施設整備基金繰入金	20,000 千円																												

2 学校施設

<校舎等の改修(鶴間小学校・成瀬台中学校)>

建築後 30 年程度経過し老朽化している校舎等の長寿命化を図るため、鶴間小学校及び成瀬台中学校の外壁、屋上防水、その他付帯設備の改修を行います。

<防音機能復旧工事(町田第二中学校)>

防衛施設周辺の航空機騒音による影響を防止・軽減するため、町田第二中学校の防音仕様の空調設備の更新を行います。

【主な事業費】	学校施設整備工事費	377,145 千円
	設計委託料	11,011 千円
	工事監理委託料	9,009 千円
【主な特定財源】	防衛施設周辺防音事業費補助金(国 10/10)	35,646 千円
	学校施設環境改善交付金(国 1/3)	26,583 千円
	学校施設整備事業債	239,000 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 浅沼	電話	724-2174
------	---------------	----	----------

3 市営住宅

忠生市営住宅(3 号棟及び集会所)の屋上防水、真光寺市営住宅(3 号棟)の給湯器取り替え工事を行います。

【事業費】	施設等管理委託料	76,603 千円
【主な特定財源】	防災・安全交付金(国 4.5/10)	20,975 千円



<忠生市営住宅>

問合せ先	都市づくり部 住宅課長 香月	電話	724-4269
------	----------------	----	----------

4 道路・橋梁

安全で快適に通行できるよう、道路の舗装補修工事等を行います。老朽化した橋梁やペDESTリアンデッキの点検や補修工事を計画的に行い、施設の長寿命化を図ります。

【主な事業費】	舗装補修工事費	105,000 千円
	橋梁維持工事費	70,000 千円
【主な特定財源】	道路メンテナンス事業費補助金(国 5.5/10)	6,600 千円
	道路橋梁費補助金(都 3/10、2.5/10)	27,780 千円



<町田 128 号線>

問合せ先	道路部 道路維持課長 林田	電話	724-1121
------	---------------	----	----------

件 名		公共施設等マネジメント事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
10,129		0	0	0	0	10,129	

【事業の背景・目的】

「みんなで描こうより良いかたち町田市公共施設再編計画」に基づき、2018 年度から 38 年間の「26 の施設機能毎の今後の方向性」や、2018 年度から 2026 年度までの 9 年間に取り組む内容をまとめた「短期再編プログラム」を推進していく必要があります。

今後も、公共施設再編の意義や必要性について周知する機会を増やし、多くの方々に興味、関心を持っていただくとともに、みんなで考える場を設け、市民の皆様や事業者の皆様との「対話」を十分に行いながら、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指します。

【事業の内容】

① 公共施設再編への共通理解：公共施設再編計画を着実に推進していくため、イベント会場等、人が集まる地域の場所へ赴き、公共施設再編の意義や必要性について、継続して周知します。併せて、市民の皆様との対話やアンケートによる意見収集を行うなど、サイレントマジョリティのご意見を大切にして進めていきます。

② 再編計画の推進：庁内組織である「町田市公共施設等マネジメント委員会」において総合的に検討し、短期再編プログラムを計画的かつ効果的に推進していきます。

③ 再編構想の策定：町田駅周辺にある公共施設全体の方向性を示す「（仮称）町田駅周辺公共施設再編構想」を2022 年 3 月に策定します。策定にあたっては、ご意見の募集、民間活力導入可能性調査の実施などにより、市民の皆様や事業者の皆様と十分な対話を行いながら進めていきます。



町田駅周辺鳥瞰図

【スケジュール】

年度	2021											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①公共施設再編への共通理解				情報紙発行					情報紙発行			
	イベント会場等での周知、対話やアンケートによる意見収集（8 回）											
②再編計画の推進		委員会開催			委員会開催			委員会開催			委員会開催	
③再編構想の策定				民間活力導入可能性調査								
	（仮称）町田駅周辺公共施設再編構想の検討、策定											

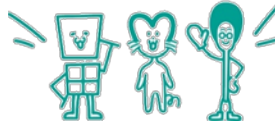
【主な事業費】

①②③公共施設等マネジメント支援業務委託料8,250 千円

①情報紙制作委託料900 千円

①情報紙配布委託料850 千円

公共施設・公共空間のより良いかたち



公共施設見直しキャラクター

問合せ先	政策経営部 企画政策課公共施設再編担当課長 柘植野	電話	724-2103
------	---------------------------	----	----------

件 名	(仮称) 都市づくりのマスタープラン策定事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
30,180		1,839	1,657	0	0	26,684

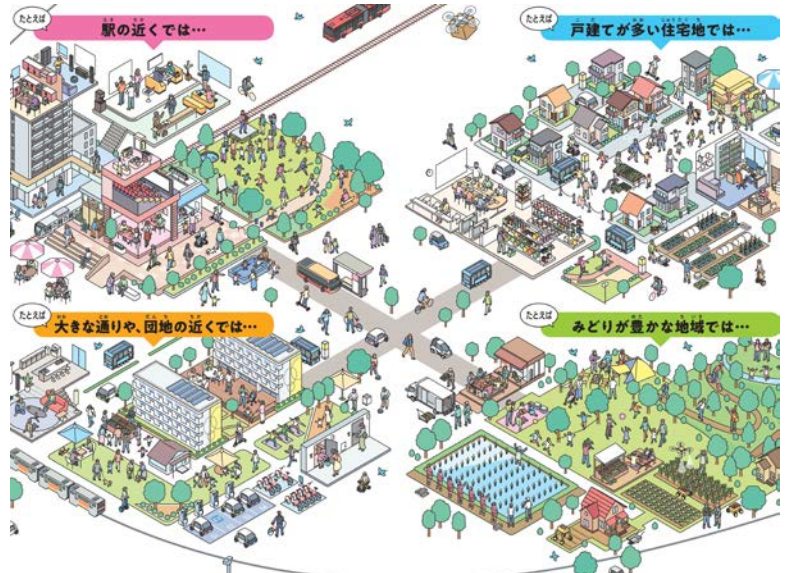
【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 218、221、223、224 ページ

都市づくりの分野においては、これまで「都市計画マスタープラン」、「交通マスタープラン」、「緑の基本計画」及び「住宅マスタープラン」の4計画を策定し、まちづくりを推進してきました。

「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」が描く“なりたい未来”を実現する、新しいまちづくりの方向性を位置付けるため、4つの計画を1つのマスタープランにまとめた、「(仮称)町田市都市づくりのマスタープラン」を策定します。

2020年2月に町田市都市計画審議会に設置した特別委員会において、「20年後の市民の暮らし方」に着目した将来都市像や、まちづくりアイデアについて議論を重ね、2020年11月に町田市都市計画審議会に中間報告しました。



<20年後の市民の暮らし方イメージ>

【事業の内容】

最終的な検討成果を町田市都市計画審議会からの最終答申後、パブリックコメント等を経て、新しいマスタープランを策定・公表します。新しいマスタープランでは、市民が暮らしとまちのビジョンや将来のまちだをイメージしてもらえるよう、表現やデザインを工夫していきます。

【スケジュール】

	2021 年度											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
改定作業	特別委員会				答申	パブリックコメント／計画とりまとめ						公表

【事業費】

①都市計画マスタープラン改定委託料	14,621 千円
②交通マスタープラン改定委託料	4,034 千円
③住宅マスタープラン改定委託料	7,666 千円
④町田市緑の基本計画改定検討支援委託料	3,859 千円

【特定財源】

③地域住宅計画事業費補助金(国 4.5/10)	1,839 千円
③空家対策事業費補助金(都 1/2)	1,657 千円

問合せ先	都市づくり部	都市政策課長 窪田	電話	724-4248
		交通事業推進課長 須田		724-4240
		住宅課長 香月		724-4269
		公園緑地課長 新		724-4397

件 名	環境マスタープラン策定事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,694		0	0	0	0	12,694

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 197 ページ

各地での局地的大雨など、気候変動の市民生活への影響が年々強まり、各自治体の環境への取り組みは、これまで以上に重要性を増しています。また、市の魅力の一つである生きものや自然について、多くの市民が親しみや愛着をもち、生物多様性の保全の重要性について理解を深めることも期待されています。

町田市では「第二次町田市環境マスタープラン」に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に推進してきました。その「第二次町田市環境マスタープラン」が 2021 年度に計画期間の終了を迎えることを受け、新たな課題に対応した施策をより効果的、効率的に展開する必要があります。

【事業の内容】

○気候変動対策の国際的枠組みであるパリ協定や持続可能な開発目標（SDGs）及びこれらを受けた国内外の情勢変化を踏まえた環境基本計画として、「第 3 次町田市環境マスタープラン」を策定します。計画期間を 10 年間とし、社会状況等の変化に応じて、計画期間の途中で必要な見直しを行います。

○「第 3 次町田市環境マスタープラン」には、地球温暖化対策を強化し、将来的な脱炭素社会の実現を目指すため、新たに「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を加えます。地球温暖化に起因すると見られる異常気象に対応するため、実際に気候変動の影響が生じた際の適応策についても実効性の高い施策展開を図ります。また、生物多様性の保全に関する施策をより効果的、効率的に推進するため、「町田生きもの共生プラン」を統合します。

【スケジュール】

	2021年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体					☆ 計画素案策定	↔ パブリックコメント					☆ 計画策定	
環境審議会		☆			☆				☆	☆ 答申		
市民意見交換会		↔ 2回										

【事業費】

策定支援業務委託料	11,891 千円
(2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 19,162 千円)	
環境審議会委員報酬	683 千円
意見交換会参加者謝礼	120 千円

問合せ先	環境資源部 環境政策課長 宮坂	電話	724-4379
------	-----------------	----	----------

件 名	教育の情報化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
813,322		0	31,472	0	16,866	764,984

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 264、266 ページ

今後、グローバル化や ICT の進展により、産業や雇用など様々な分野で大きな変化が起こることが予測されています。新たな時代に必要な資質・能力である積極性や創造性を育む上で、学校現場にもタブレット等の ICT 機器の普及が急速に進んでおり、同時に教育活動に活用可能なソフトウェアも続々と開発されています。

市では、国が推進する「GIGA スクール構想の実現」に向け、児童生徒 1 人 1 台のタブレット端末配備と小・中学校における高速通信環境の整備が完了しました。

市では、これらの ICT 機器やソフトウェアを活用し、子どもの学力向上に結び付けていくための方法論を確立することで、町田の子どもたちの将来の活躍の場を広げるとともに、町田の教育の魅力を高めていきます。

【事業の内容】

- ①タブレット端末の操作や活用を支援する ICT 授業支援員の配置を月 2 回から週 1 回に拡充します。
- ②より分かりやすい授業の実施と、教材の作成や板書の効率化を図るため、教科用デジタル教材（指導者用）を導入します。また、町田第一中学校の新校舎の使用開始に向けて、大型提示装置及び高速通信環境を配備します。
- ③小・中一貫学習支援コンテンツを小・中学校の全学年に導入します。これにより 9 年間の学びの連続を実現し、AIによる個別最適化された学習及び授業を提供します。

	2021 年度	2022 年度	2023 年度以降
①ICT 授業支援員の配置	ICT 授業支援員の訪問（各校週に 1 回）程度		
②教科用デジタル教材（指導者用）導入	小学校：算数 中学校：英語・数学		
③小・中一貫学習支援コンテンツ導入	小・中学校 全学年 5 教科		

【主な事業費】

システム使用料（小・中一貫学習支援コンテンツなど）	439,120 千円
委託料（ICT 授業支援員など）	282,255 千円
インターネット通信費（GIGA スクール回線など）	66,087 千円
備品購入費（教科用デジタル教材、大型提示装置など）	17,928 千円

【特定財源】

公立学校情報機器整備支援事業補助金（都）	31,472 千円
小・中一貫学習支援コンテンツ保護者負担金	16,866 千円

問合せ先	学校教育部 指導課課長 小池 教育センター所長 林	電話	724-2178 793-2481
------	------------------------------	----	----------------------

件 名	デジタル化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
149,497		0	0	0	0	149,497

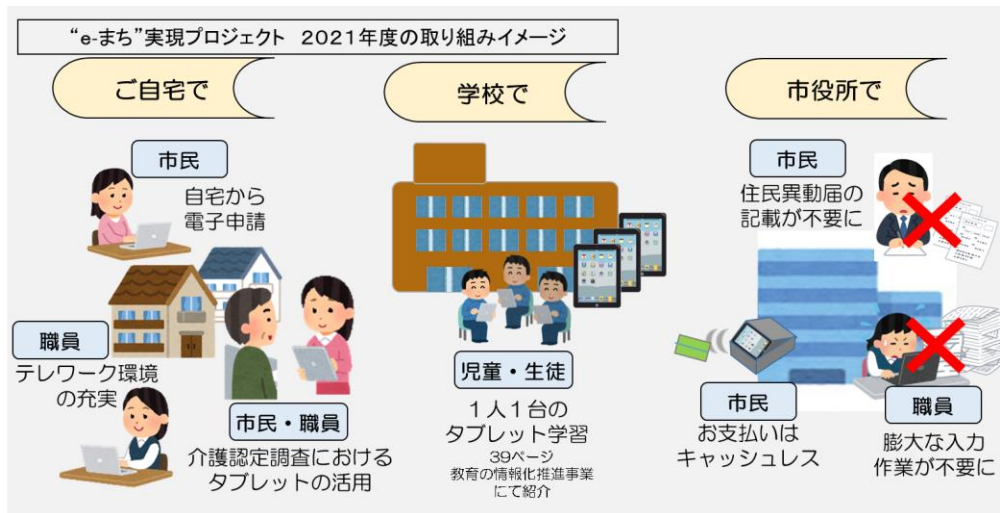
【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 90、100、123、160 ページ

市では、2020 年 3 月に“e-まち”実現プロジェクトを立ち上げ、市民の利便性向上と市役所業務の生産性向上を目的に、「できることから始めよう。」を合言葉として、組織横断的に行政のデジタル化を進めています。

【事業の内容】

2021 年度は、介護や小・中学校の教育現場におけるタブレット活用及び窓口における課税・非課税証明書や納税証明書等の発行手数料に係るキャッシュレス化などを通じ、市民サービスの向上と市役所業務の生産性向上に資するデジタル化を進めていきます。



1 電子申請の拡充

市民が窓口へ「行く手間」をなくす観点と、人と人との接触機会を減らすという観点で、インターネットを経由し申請・届出等ができる手続きを拡充していきます。これにより、市民の利便性向上を図ります。

2 窓口申請支援システムの運用開始

転入手続きの際に市民が持参する転出証明書や在留カードなどの文字情報を、OCR を用いてデータ化し、住民記録システムに取り込む機能等がある新たなシステムを 2021 年 11 月に導入します。これにより、市民が住所変更の届出を「書く手間」を簡略化し、市役所での滞在時間を短縮させるとともに、職員が行う入力作業の効率化を図ります。

3 証明書発行手数料のキャッシュレス化

現在、市税や保険料等については、納付書に印字されているバーコードを、スマートフォンで読み取ることで、いつでもどこでもキャッシュレスで納付できます。さらに、2021 年 5 月からは市民課・市民センター・連絡所の窓口における住民票や印鑑証明書等の発行手数料に係るキャッシュレス化を実施します。また、2022 年 3 月に市民税課の窓口においても、課税・非課税証明書や納税証明書等の発行手数料に係るキャッシュレス化を実施します。

これにより、利用者のニーズに合った支払方法が充実し、市民サービスを向上させるとともに、非接触での支払いによる新型コロナウイルス感染リスクの低減につなげます。また、窓口業務においても、現金を取り扱う時間を短縮することで、業務の効率化を図ります。

	市民部市民課 各市民センター 各連絡所	【対象科目】 証明書等発行手数料 (住民票、印鑑証明書等)	【支払方法】 ・クレジットカード (VISA、Master) ・電子マネー (iD、交通系電子マネー、 nanaco、WAON、 楽天Edy)	2021年5月 稼働予定
	財務部市民税課	【対象科目】 証明書等発行手数料 (課税・非課税証明書、納税 証明書等)	・コード決済 (LINEPay、PayPay、 楽天Pay、d払い等)	2022年3月 稼働予定

4 介護認定調査におけるタブレットの活用

介護認定調査対象者の心身の状況等を、調査員がタブレットを活用して入力できるようにするとともに、誤入力・入力漏れ等のチェック機能等を、介護システムの更改(2022年4月予定)に合わせ追加します。これにより、介護認定調査を効率化し、介護認定までに要する期間の短縮を図ります。

5 市民税課税業務における OCR 機能の活用

市民税の課税状況を管理するシステム(税務システム)の更改に合わせ、税務署から市に画像データとして送付される確定申告書(所得税)の文字情報を、OCR を用いてデータ化しシステムに取り込むなど、課税業務を補助する機能を追加します。これにより、入力作業の効率化を図ります。

6 デジタルコミュニケーションの推進

保健所や市民センター等の施設に、行政用の無線 LAN 環境を整備し、モバイル端末を用いたリモート会議やビジネスチャットの利用場所を拡げます。これにより、デジタルコミュニケーションの利活用を推進し、市役所業務の効率化を図ります。また、これまで各拠点で実施してきた市民や有識者等との会議やワークショップにおいても、リモート開催等ができるようになることから、市民の利便性の向上にもつながります。

【主な事業費】

1	電子申請システム運用費	15,712 千円
2	窓口申請支援システム運用費	2,220 千円
3-1	キャッシュレス決済用端末購入	119 千円
3-2	キャッシュレスシステム運用費	1,218 千円
4-1	介護システム改修費	33,000 千円
4-2	認定調査支援システム運用費	4,966 千円
5	税務システム運用費	59,160 千円
6-1	デジタルコミュニケーション利活用に係るシステム導入費	2,915 千円
6-2	デジタルコミュニケーション利活用に係るシステム運用費	21,049 千円

問合せ先	総務部 情報システム課長 黒澤	電話	724-4432
	財務部 市民税課長 佐藤		724-2874
	市民部 市民課長 白川		724-2864
	いきいき生活部 介護保険課長 古味		724-4364

件 名	子どもクラブ整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
238,787		22,342	82,638	63,000	35,000	35,807

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 182 ページ

「町田市子どもセンター基本構想」に基づき進めてきた市内 5 地区への子どもセンター整備については、子どもセンター「まあち」の開館（2016 年 4 月）をもって完了しましたが、子どもの居場所の更なる充実を図るため、「新・町田市子どもマスタープラン」に基づき、子どもセンターを補完する子どもクラブの整備を進めます。整備にあたっては「新・町田市子どもマスタープラン」の基本施策である子どもの参加と意見表明の機会を確保し、利用主体である子どもたちの意見を反映します。また、木造建築により、整備地周辺の豊かな自然と調和し、木の温もりや柔らかさを感じられる施設を目指します。

【事業の内容】

小山田子どもクラブの建設工事に着手し、2022 年 3 月の開館を目指します。

施設の概要	所在地	小山田桜台 2-1-2
	敷地面積	1,135.84 m ²
	延床面積	約 470 m ²
	構造	木造平屋建て
	利用対象	0 歳から 18 歳の児童及びその保護者
	主要施設	遊戯室、集会室、乳幼児室
	開館時間	10 時から 18 時
	休館日	日曜日、祝日、年末年始（12 月 28 日から 1 月 4 日）

【スケジュール】

年度	2021											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業内容	入札・契約	整備工事									★開館	
											開館準備	

【主な事業費】

・小山田中学校区子どもクラブ建設工事	226,083 千円
・小山田中学校区子どもクラブ工事監理委託料	12,368 千円

【特定財源】

・次世代育成支援対策施設整備交付金（国）	22,342 千円
・子ども家庭支援包括補助事業費補助金（都 1/2）	60,296 千円
・児童館整備費補助金（都）	22,342 千円
・児童福祉施設整備事業債	63,000 千円
・公共施設整備基金繰入金	35,000 千円

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 早出	電話	724-4097
------	-------------------	----	----------

件 名	えいごのまちだ事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
166,749		0	0	0	3,282	163,467

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 264 ページ

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は極めて重要であり、大きな課題となっています。町田市では、これまで英語教育に先進的に取り組んできた素地を更に発展させ、英語によるコミュニケーション能力の育成に重心を置いた町田ならではの「えいごのまちだ」の取組を加速します。

町田発の新しい英語教育を義務教育の初期から展開することで、15 年後、30 年後の町田の未来を支える人材を育成すると同時に、「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。

【事業の内容】

小学校英語については、放課後英語教室全校実施、授業を指導補佐する Machida English Promotion Staff [MEPS]による全校巡回、町田市立小学校5年生全員を対象としたスヌーピーミュージアム校外学習などを継続し、英語を学び、活用する機会を確保するとともに、放課後英語教室について、年 16 回から年 12 回にカリキュラムを組み直し、クラス数を増やすことで希望者が受講できる体制を整えます。

中学校英語については、GTEC(スコア型の英語 4 技能検定)の実施により、成果を測定するだけでなく、指導改善及び学びの軌道修正を可能とし、効果的な事業展開を実現します。

また、学んだ英語を「聞く」「読む」「話す」ことができる実践機会を提供する英語研修施設ブリティッシュヒルズ(福島)での移動英語教室を行う中学校に対するインセンティブとして、その生徒の交通費を補助します。

【スケジュール】

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
英語の教科化を先行実施				英語の教科化 全国実施		
①放課後英語教室の実施	3校(試行)	新規13校 〔累計16校〕	新規13校 〔累計29校〕	新規13校 〔累計42校〕		
②Machida English Promotion Staffの配置	未配置	新規3名配置	新規6名配置 〔累計9名配置〕	新規6名配置 〔累計15名配置〕		
③スヌーピーミュージアム校外学習				全校実施		
④GTECの実施			1年生実施	1年生実施	3年生実施	2・3年生実施
⑤移動英語教室の実施				(※コロナで中止)	3校実施	5校実施
⑥ALT(外国語指導助手)の増員(小学校)	1校当たり 平均週9時間	1校当たり 平均週20時間				
⑦ALT(外国語指導助手)の増員(中学校)	1校当たり 平均週4時間	1校当たり 平均週4時間	1校当たり 平均週8時間			

【主な事業費】

【特定財源】

①放課後英語教室講師謝礼	7,992 千円	まちだ未来づくり基金繰入金	3,186 千円
④GTEC実施委託料	17,755 千円	指定寄付金	96 千円
⑥⑦ALT(外国語指導助手)派遣委託料	132,704 千円		

問合せ先	学校教育部 指導課長 小池	電話	724-2178
------	---------------	----	----------

件 名	中学校給食センター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
21,770		0	0	0	0	21,770

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要説明書 263 ページ

現在、町田市の中学校給食は「選択制・ランチボックス形式」で提供しています。現行方式では、食中毒防止の観点から給食を一度冷やして提供しているため、生徒からは温かい給食を望む声が寄せられています。また、家庭環境が多様化するなかで、保護者からは全員給食を求める要望が寄せられています。

町田市では、これまで中学校給食の利用促進に取り組んできましたが、現行方式において温かい給食などの要望に応えられていないこともあり、給食利用者を計画どおり増加させるのが困難な状況となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、町田市の中学校給食においては、学校の運営状況に合わせた給食の提供や災害時に求められる柔軟な対応をとることが難しい状況であるという新たな課題も認識しています。

これらの課題を解決するため、町田市学校給食問題協議会に「新たな中学校給食の提供方式」について諮問し、答申を受けました。

協議会からの答申を踏まえ、成長期の中学生全員に安全・安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」の提供を早期に実現するため、町田市の新たな中学校給食の提供方式として、「全員給食・給食センター方式」を導入します。

中学生全員に給食を提供するとともに、炊き出し・備蓄などの災害対応や、地域に食の提供を行うなどの地域貢献を可能とする機能を備えた給食センターを市内 3 箇所に分散して整備します。

【事業の内容】

2021 年度は、給食センターの整備に向けて、「（仮称）町田市学校給食センター整備基本計画」を策定します。

【スケジュール】

2024 年度に 1 箇所目の給食センター稼働を目指します。

【事業費】

基本計画策定委託料21,770 千円



問合せ先	学校教育部 保健給食課長 有田	電話	724-2177
------	-----------------	----	----------

件 名	シティプロモーション推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
50,021		0	0	0	0	50,021

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要説明書 78 ページ

町田市に「住みたい、住み続けたい」という気持ちを高めることを目的に、市民のまちへの愛着・誇りを育み、市外からの関心・憧れを抱くまちとして認識していただけるよう、シティプロモーションを展開します。

【事業の内容】
1 まちの魅力の情報発信

子育てや教育、経済、観光、スポーツ等の各分野でふくらむ「まちの魅力」をつなぎあわせ、既存の広報媒体に留まらず、民間企業のノウハウや情報拡散に有効なメディア（WEB リリース等）を活用して町田ならではのプロモーションをしていきます。

また、町田で活動するさまざまな「人」にスポットを当てた情報発信にも重点を置き、町田で暮らす人の「空気」や「雰囲気」を伝えることで、市内外の「共感」を獲得し、「住みたい・住み続けたい」という気持ちを醸成します。



WEB と連動したプロモーションブック(2020 年度作成)

2 まちだ〇ごと大作戦 18-20⁺

まちだ〇ごと大作戦は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民や地域、企業等の様々な取り組みが中止や延期を余儀なくされたことに伴い、「まちだ〇ごと大作戦 18-20⁺」として 1 年間延長して実施します。引き続き、市民等が新しい人との出会いやつながりで「やってみたいこと」を実現できるよう、市民活動や地域活動を支え、市内各地域で取り組みが行われている様子を市内外に情報発信します。



市民や地域等が新しいつながりで様々な取り組みを実施中

【スケジュール】

	2021 年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
まちの魅力の情報発信	テレビ・WEB・SNS 等を活用した PR の実施											
まちだ〇ごと大作戦 18-20 ⁺	提案・アイデアの受付(9 月末まで)、〇ごと大作戦チャレンジ事業実施(12 月末まで)											
	実行委員会ホームページ、レポート発行、プレスリリースなどの情報発信											
	●幹事会 ●実行委員会			●幹事会			●幹事会 ●実行委員会			各〇ごと大作戦チャレンジ事業の助成金の精算、 〇ごと大作戦終了後の報告業務 実行委員会●		

【主な事業費】

まちだシティプロモーション支援業務委託料 27,775 千円

まちだ〇ごと大作戦実行委員会負担金 19,140 千円

問合せ先	政策経営部 広報課長 遠藤 まちだ〇ごと大作戦担当課長 村上	電話	724-2101
------	-----------------------------------	----	----------

件 名	芹ヶ谷公園芸術の杜・（仮称）国際工芸美術館整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
111,515		0	0	54,000	96	57,419

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 128 ページ

”芸術の杜”という大きなテーマの中で、芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館を一体的に整備します。

公園の価値と資源を活かし、「子ども」と「体験」という新しい視点の取組みも含めて、町田らしい様々なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園やまちなかと一体となって展開される状態を目指します。



～美術エリア 整備イメージ～

【事業の内容】

①（仮称）国際工芸美術館の実施設計

（仮称）国際工芸美術館の整備については、「子ども」と「体験」という視点を持つとともに、芹ヶ谷公園の環境を最大限に活かす構想です。子どもも大人も創作活動を楽しめる工房などの体験機能や、カフェなどのサービス機能は、未利用地も活用して公園全体で最適な形に配置します。さらに、講堂や事務機能などは国際版画美術館との積極的な共有や連携を図ることで、二つの特徴ある美術館の個性を活かしつつも、専門の垣根を超えた一体的な企画運営を行います。この構想を具体化するため、（仮称）国際工芸美術館の実施設計を着実に進めます。

②体験工房に係る手法等の検討

体験工房については、子どもから大人まで「誰でも」「気軽に」「多様な」創作体験ができる創造的な場として、そして多様なアート・創作活動への興味・関心のきっかけを育む場となることを目指しています。民間活力の活用も含めて、その実現に向けた手法等についての検討を進めていきます。

③芹ヶ谷公園“芸術の杜”の企画・運営

芹ヶ谷公園“芸術の杜”のコンセプト「町田の文化と自然に出会える パークミュージアム」を実現するために、市民の方々、そして「Made in Serigaya（メイドイン芹ヶ谷）」でつながった方々と一緒になって、芹ヶ谷公園がより愛される公園となるように育て、盛り上げていくための取り組みを進めます。

④ガラス・陶磁器のPR等

建物の設計と並行して、市民に工芸美術をより身近に感じていただけるよう、子どもも大人も楽しめる、ガラスや陶磁器の制作体験や、イベント会場でのPR、作品の展示なども実施します。

【スケジュール】

2020年度													2021年度													2022年度													2023年度													2024年度												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
（仮称）国際工芸美術館 基本設計（その2）													（仮称）国際工芸美術館 実施設計 （国際版画美術館 エレベーター修繕含む）													（仮称）国際工芸美術館 整備工事 （国際版画美術館エレベーター修繕含む）																																						
（仮称）国際工芸美術館・ 国際版画美術館 一体化基本設計																																							（仮称）国際工芸美術館・ 国際版画美術館 一体化実施設計																									
																										体験工房 地盤調査																																						
体験工房 他 建築基本計画													体験工房 用地測量/スキーム検討													体験工房 基本実施設計													国際版画美術館 修繕工事 基本・実施設計																									
芹ヶ谷公園（第2期） 基本設計													総合企画運営 業務委託																										体験工房 整備工事/造成工事																									
																										アウトリーチ展示等事業																																						

2025年度												2026年度												2027年度												2028年度												2029年度											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(仮称) 国際工芸美術館整備工事 (仮称) 国際工芸美術館・国際版画美術館一体化整備工事 国際版画美術館修繕工事																																																											
												芹ヶ谷公園(第2期)実施設計																																															
体験工房整備工事／造成工事																																																											

【事業費】

- | | |
|--|-----------|
| ①-Ⅰ (仮称)国際工芸美術館実施設計委託料 | 72,380 千円 |
| (2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 103,400 千円) | |
| ①-Ⅱ 国際版画美術館既存エレベーター修繕設計委託料 | 4,576 千円 |
| ②-Ⅰ 芹ヶ谷公園芸術の杜官民連携支援検討委託料 | 15,000 千円 |
| ②-Ⅱ 町田荘跡地測量等業務委託料 | 4,348 千円 |
| ③ 芹ヶ谷公園芸術の杜総合企画運営業務委託料 | 10,000 千円 |
| ④ アウトリーチ展示等委託料 | 5,211 千円 |

【特定財源】

- | | |
|------------|-----------|
| ①文化施設整備事業債 | 54,000 千円 |
| ④講習会等参加費 | 96 千円 |

問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 神谷	電話	724-2184
------	---------------------	----	----------

件 名	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
143,636		0	83,548	0	3,466	56,622

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 133、193 ページ

新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期となった東京 2020 オリンピック・パラリンピックは、コロナ後の新たな日常に適した安心で安全な開催に向けて準備が進められています。

大会開催に際して、町田市ではインドネシア、南アフリカ、中国の代表チームの事前キャンプを受け入れます。トップアスリートの凄さを感じることができるまたとない機会であり、市民とりわけ子ども達の生涯心に残る感動や思い出、将来の夢につながります。



また、町田市はオリンピック自転車競技ロードレースのコースであるほか、東京都初日のオリンピック聖火リレーが実施され、そのゴール地点の町田シバヒロで聖火の到着を祝うイベント（セレブレーション）が開催されます。世界中の注目を集めるこの機会に、積極的に町田の魅力を発信し、地域のみなさまとともにまちを盛り上げていきます。

大会に向けた取り組みを通じ、より多くの方に様々な形で関わっていただくことで大会の感動や興奮を共有し、「スポーツで人とまちが一つになる」まちの実現を目指します。

【事業の内容】

1 海外代表チーム事前キャンプ受入れ

大会に出場する選手が最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、PCR 検査や専用食事会場の確保等の新型コロナウイルス感染症対策を講じて安全・安心な練習環境を整えるとともに、小中学生をはじめとする市民と選手の交流の機会をつくります。

国	競技	実施時期(予定)	練習会場(予定)
インドネシア	(オリンピック) バドミントン・空手	7 月中旬～下旬	サン町田旭体育館
	(パラリンピック) パラバドミントン	8 月中旬～下旬	
南アフリカ	(オリンピック) 陸上	7 月下旬	町田 GION スタジアム
中国	(オリンピック) バドミントン	7 月中旬～下旬	総合体育館

2 オリンピック・パラリンピック関連事業実施

(1) 聖火リレー

大会組織委員会や東京都聖火リレー実行委員会とともに、聖火リレーや関連イベントを実施します。

イベント名	開催日	内容
オリンピック聖火リレー	7/9(金)	町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲート～町田シバヒロ(セレブレーション会場)の約 5.8kmで実施
パラリンピック聖火フェスティバル (採火式)	8/20(金)	都内で行われるパラリンピック聖火の集火式に届ける炎(町田の火)を採火するイベントを実施

(2) オリンピック自転車競技ロードレース

大会組織委員会の競技運営をサポートするとともに、町田市を訪れた観戦者が一日楽しめるよう、コミュニティライブサイトや応援イベントを実施し、地域のみなさまとともに大会を盛り上げます。

イベント名	開催日	会場	内容
コミュニティライブサイト (市主催)	7/24(土)	小山白山公園	自転車競技ロードレースの競技中継・解説(スタートからゴールまで)など
自転車ロードレース 応援イベント (地元実行委員会主催)	・25 日(日)	小山白山公園 JA町田市堺支店	ステージイベント、物販ブース出店、 応援グッズ作成・配布など

※オリンピック自転車競技ロードレース 男子:7/24(土)、女子:7/25(日) 市内約 3.4kmを通過

(3)パブリックビューイング・コミュニティライブサイト

多くの市民のみなさまとともに競技観戦等を楽しむイベントを実施します。

イベント名	開催日	会場	内容
パブリックビューイング	選手の出場予定により開催日を決定	市庁舎	事前キャンプチームや町田市ゆかりの選手の出場試合等の競技中継
コミュニティライブサイト (パラリンピック)	9/4(土)	総合 体育館	パラバドミントンの競技中継・解説、 ステージイベント、競技体験など

(4)レガシー銘板設置

大会が開催された場所であることを後世に永く伝えるため、聖火リレーのスタート・ゴール地点と自転車ロードレースコース周辺の合計 3 か所に、銘板(プレート)を設置します。

(5)その他大会関連事業

町田市ゆかりの選手を応援する市民などに観戦チケットを提供し、選手を競技会場で応援します。

(6)大会開催に合わせたシティセールス

聖火リレーのセレブレーション会場や、オリンピック・パラリンピック関連イベントなど、市内外からも多くの来訪者が想定される会場にブースを出店し、観光名所 PR や町田名産品販売等により町田市の魅力を広く発信します。

【主な事業費】

事前キャンプ受入委託料(感染症対策費を含む)	64,701 千円
気運醸成事業実施委託料	35,385 千円
(一部 2020~2021 年度債務負担行為事業 総事業費	22,157 千円)
自転車ロードレース応援イベント開催委託料	5,000 千円



©Tokyo2020

東京 2020 大会公式マスコット
「ミライトワ・ソメイティ」

【主な特定財源】

ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策交付金(事前キャンプ事業費)(都 10/10)	50,078 千円
東京 2020 大会等事業費補助金(コミュニティライブサイト事業費)(都 1/2・2/3)	17,473 千円
東京 2020 大会等事業費補助金(聖火リレー事業費)(都 1/2・2/3)	5,333 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック等 国際大会推進課長 唐澤 経済観光部 観光まちづくり課長 老沼	電話	724-4442 724-2128
------	--	----	----------------------

件 名	町田市文化プログラム推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,645		0	0	0	3,935	6,710

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 130 ページ

オリンピック・パラリンピック開催都市は、オリンピック・パラリンピック開催までの期間に「文化プログラム」を実施することが、オリンピック憲章で求められています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、東京 2020 オリンピック・パラリンピックが 2021 年に延期されたことに伴い、「文化プログラム」の期間も延期となりました。

町田市では、2017 年 3 月に町田市文化プログラム推進計画を策定し、「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち」を目指して、町田市文化プログラムを推進しており、2021 年度はその最終年度となります。町田市文化プログラムとして実施された様々な取り組みや、それによって生まれた参加団体同士のネットワークなどをレガシーとして引き継ぎ、2021 年以降も文化芸術のまちづくりを推進します。

【事業の内容】

国際版画美術館では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けて 2017 年度から実施してきた「浮世絵プログラム」の最終年度の企画として、江戸・東京を中心とした風景浮世絵を紹介する「浮世絵風景画 広重(ひろしげ)・清親(きよちか)・巴水(はすい) 三世代の眼」を町田市文化プログラムとして開催します。

併せて、西洋風景版画展と浮世絵風景画展の期間中に、町田駅と国際版画美術館を結ぶシャトルバスを運行します。主な運行日は期間中の土曜、日曜、祝日等を予定しています。



歌川広重

《東海道五拾三次「日本橋 朝之景」》1833-36 年頃



小林清親 《海運橋 第一銀行雪中》1876 年



川瀬巴水

《東京二十景「芝増上寺」》

1925 年

【スケジュール】

年度	2021											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
国際版画美術館企画展	(参考) 西洋風景 版画展			浮世絵 風景画 展								
シャトルバス	無料シャトルバスの運行											
(参考)市が主催する町田市文化プログラム	事業実施						事業の振り返り					
(参考)市民の町田市文化プログラムへの参加促進	市民への周知											

【主な事業費】

運搬料	3,448 千円
事業・業務委託料(シャトルバス運行管理)	1,664 千円
(広告宣伝等)	1,100 千円
作成委託料(企画展ポスター等)	1,083 千円
製作委託料(ディスプレイ及び屋外看板)	551 千円

【特定財源】

展覧会観覧料	2,189 千円
芸術文化振興基金助成金	1,746 千円



シャトルバス運行車両



問合せ先

文化スポーツ振興部 国際版画美術館副館長 鈴木

電話

726-2771

件 名		多摩都市モノレール延伸事業													
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源									
94,985		5,300	0	0	88,000	1,685									
【事業の背景・目的】 Ⅱ 部別予算概要説明書 212、218 ページ 多摩都市モノレール町田方面延伸の事業化に向けた東京都や多摩都市モノレール株式会社との調整を進める中で、モノレール延伸の効果を最大限発揮するためのモノレール沿線のまちづくりが求められています。 モノレールの起終点として、多摩地域の重要拠点となる町田駅を、駅とまちなか、さらに周辺に有機的につながる新たな「駅まち」空間として整備し、人が集い、憩う新たな交流や活動を生み出していく拠点としていきます。また、新たに設けられるモノレール中間駅を暮らしやすくする身近な生活拠点としていきます。															
【事業の内容】 ① 町田駅周辺エリアにおいて、まちなかへの回遊性を高めるための歩行者空間やバスと3つの駅とのスムーズな乗り換えができる新たな交通ターミナル、まちのシンボルとなる新たな駅前広場や、駅前交通のあり方等の検討を行います。 ② モノレールの導入空間である都市計画道路 3・4・11 号線について、東京都の「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用し、東京都と協働で予備設計や調査測量を行います。															
【スケジュール】<table><tr><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr><tr><td>①町田駅の新たな「駅まち」空間形成検討</td><td colspan="2">関係法令手続き (都市計画決定、事業認可手続きなど)</td></tr><tr><td colspan="3">②設計、測量、用地取得</td></tr></table>							2021年度	2022年度	2023年度	①町田駅の新たな「駅まち」空間形成検討	関係法令手続き (都市計画決定、事業認可手続きなど)		②設計、測量、用地取得		
2021年度	2022年度	2023年度													
①町田駅の新たな「駅まち」空間形成検討	関係法令手続き (都市計画決定、事業認可手続きなど)														
②設計、測量、用地取得															
【主な事業費】<table><tr><td>①町田駅の新たな「駅まち」空間形成検討支援委託料</td><td>6,985 千円</td></tr><tr><td>②調査等委託料(都市計画道路 3・4・11 号線)</td><td>33,000 千円</td></tr><tr><td>②予備設計委託料(都市計画道路 3・4・11 号線)</td><td>27,000 千円</td></tr></table>							①町田駅の新たな「駅まち」空間形成検討支援委託料	6,985 千円	②調査等委託料(都市計画道路 3・4・11 号線)	33,000 千円	②予備設計委託料(都市計画道路 3・4・11 号線)	27,000 千円			
①町田駅の新たな「駅まち」空間形成検討支援委託料	6,985 千円														
②調査等委託料(都市計画道路 3・4・11 号線)	33,000 千円														
②予備設計委託料(都市計画道路 3・4・11 号線)	27,000 千円														
【特定財源】<table><tr><td>①官民連携都市再生推進事業費補助金(国 10/10)</td><td>5,300 千円</td></tr><tr><td>②道路整備事業受託収入</td><td>88,000 千円</td></tr></table>							①官民連携都市再生推進事業費補助金(国 10/10)	5,300 千円	②道路整備事業受託収入	88,000 千円					
①官民連携都市再生推進事業費補助金(国 10/10)	5,300 千円														
②道路整備事業受託収入	88,000 千円														
問合せ先	都市づくり部 都市政策課多摩都市モノレール推進室長 深澤 道路部 道路整備課長 岩岡			電話	724-4077 724-1122										

件 名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6,500		0	0	0	0	6,500

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 221 ページ

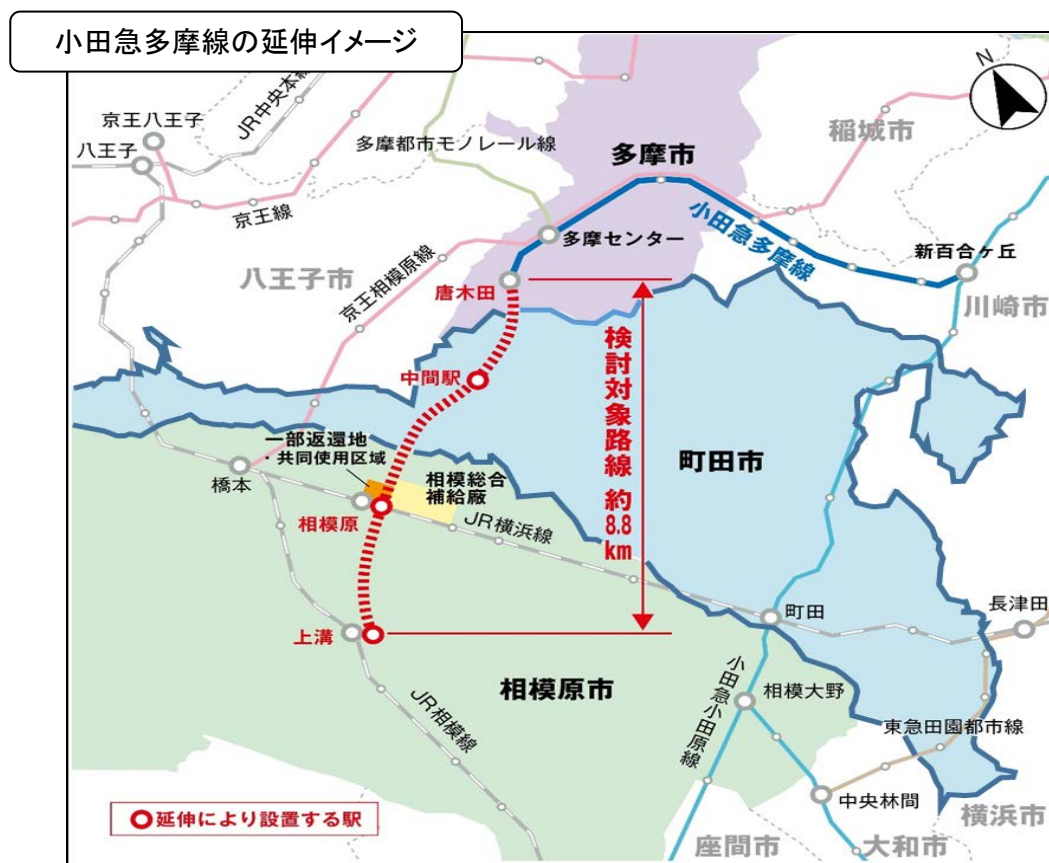
小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸は、首都圏南西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

本延伸線は、2016年4月に国土交通省の交通政策審議会の答申において、「『東京圏の都市鉄道が目指すべき姿』を実現する上で意義のあるプロジェクト」とされました。

現在、関係者で構成する「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」において、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向けた検討を行っています。

【事業の内容】

2020年度に引き続き、延伸の早期実現を目指して、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向け、関係機関との調整・協議を進めるとともに、相模原市と共同で必要な調査検討等を実施します。



【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金

6,500 千円

問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 須田	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

件 名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
一般会計：516,133		36,000	18,000	184,000	0	278,133
特別会計：105,021		54,750	27,375	0	0	22,896

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 212、220 ページ

2016 年 10 月策定の「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づく都市基盤整備を行い、都市防災機能の向上等を進め、交通便利と生活環境等の改善を図ります。また、市の副次核にふさわしい活力と魅力にあふれた街を実現します。

本事業では、南口については鶴川駅南土地区画整理事業や南口アクセス道路を、北口については、北口交通広場や南北自由通路の整備を進めています。2020 年 3 月に鶴川駅南土地区画整理事業の事業計画の決定(事業認可)、2020 年 11 月に北口交通広場再整備事業の事業認可を取得し、事業に着手しました。

○一般会計

【事業の内容】

- ①北口交通広場整備事業：電線共同溝工事と道路等の詳細設計を行います。
- ②南北自由通路：小田急電鉄株式会社と 2020 年に締結した協定に基づき、鶴川 1 号踏切を含めた実施設計を進めます。
- ③南口アクセス道路：整備に向けて用地測量を行います。

【スケジュール】

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度以降
①北口交通広場整備	北口交通広場整備				北口交通広場仮使用開始
②南北自由通路整備	実施設計・事業認可	桁製作、自由通路整備			
③南口アクセス道路	用地測量	用地取得	整備工事		

【主な事業費】

- | | |
|------------------|------------|
| ①北口交通広場整備工事費 | 139,500 千円 |
| ①北口交通広場詳細設計委託料 | 22,500 千円 |
| ②南北自由通路整備設計負担金 | 195,723 千円 |
| ③南口アクセス道路測量業務委託料 | 9,000 千円 |

【特定財源】

- | | |
|---------------------|------------|
| ①社会資本整備総合交付金(国 1/2) | 36,000 千円 |
| ①都市計画費補助金(都 1/4) | 18,000 千円 |
| ①都市計画事業債 | 38,000 千円 |
| ③道路整備事業債 | 146,000 千円 |

○特別会計：鶴川駅南土地地区画整理事業会計

【事業の内容】

④鶴川駅南土地地区画整理事業は、都市計画変更、仮換地指定、先行用地取得等を行います。

【スケジュール】

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度以降
④土地地区画整理事業	都市計画変更・仮換地指定 先行用地取得	整備工事			

【主な事業費】

④鶴川駅南土地地区画整理事業業務委託料 82,125 千円

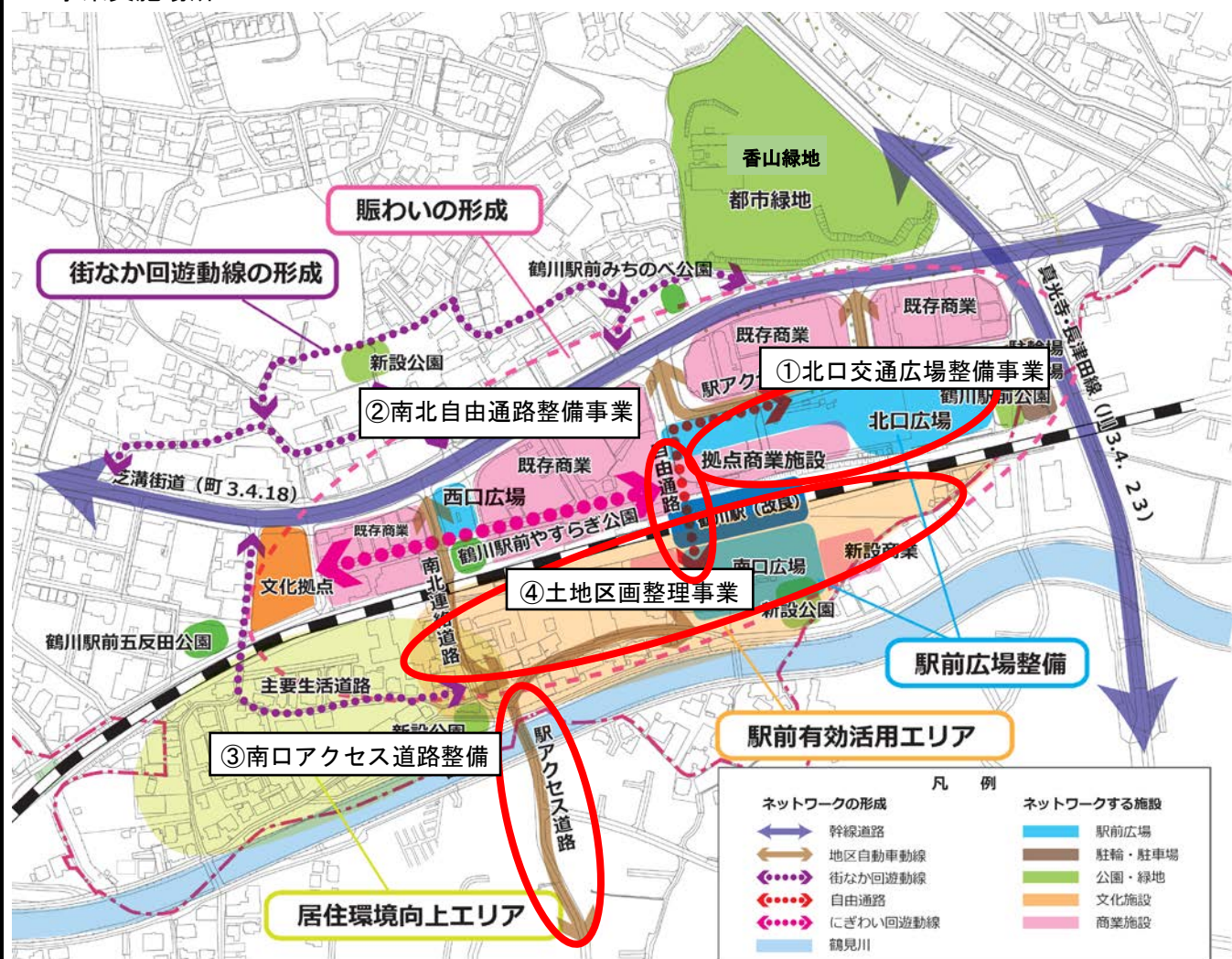
（2020～2031 年度債務負担行為事業 総事業費 5,653,845 千円）

【特定財源】

④社会資本整備総合交付金(国 1/2) 54,750 千円

④都市再生土地地区画整理助成金(都 1/4) 27,375 千円

・事業実施場所



問合せ先

都市づくり部 地区街づくり課長 荒木
道路部 道路整備課長 岩岡

電話

724-4214

724-1122

件 名	相原駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
371,903		0	181,600	162,000	0	28,303

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 210、220 ページ

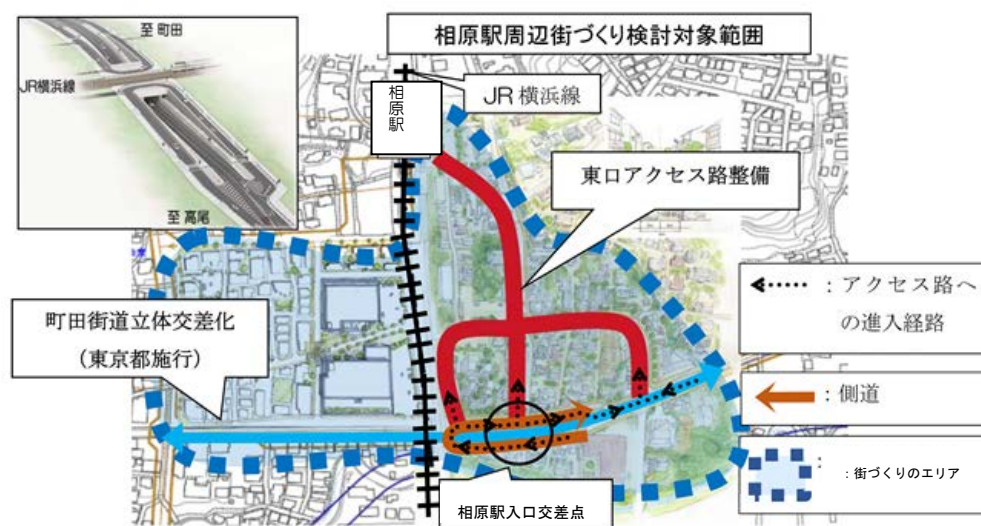
相原駅東口地区は、町田街道の大戸踏切立体交差化事業に伴う町田街道から駅東口へのアクセス路整備により、市街地環境が大きく変わります。これを契機とし、「町田市都市計画マスタープラン」で位置づけた「生活中心地」にふさわしい土地利用の誘導を図り、地域一帯の拠点づくりを実現するため、2021 年 1 月に地区計画の決定及び関連する都市計画決定・変更の告示を行いました。

【事業の内容】

- ①駅東口の拠点性を向上させるため、駅前広場整備の検討を進めるとともに、駅前広場に接する地権者と駅前街区の再編整備に向けた協議を進めます。
- ②町田街道から駅東口への新たなアクセス路の整備（用地取得等）を進めます。

【スケジュール】

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年	2025 年度以降
①東口駅前街区	駅前広場整備検討			駅前広場整備	
	駅前周辺街区再編検討			駅前周辺街区再編整備	
②東口アクセス路	用地取得、道路整備				



【主な事業費】

- ①街づくり支援委託料 3,000 千円
- ②アクセス路物件等補償料 246,600 千円
- ②アクセス路用地購入費 116,742 千円

【特定財源】

- ②道路橋梁費補助金（都 1/2） 181,600 千円
- ②道路整備事業債 162,000 千円

問合せ先	都市づくり部 道路部	地区街づくり課長 荒木 道路整備課長 岩岡	電話	724-4214 724-1122
------	---------------	--------------------------	----	----------------------

件 名	南町田拠点創出まちづくりプロジェクト事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
20,500		0	0	0	14,756	5,744

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要説明書 218 ページ

2019 年 11 月に南町田グランベリーパークとしてまちびらきした本地区について、都市計画マスタープランで位置づけた「副次核」としての更なる充実のため、引き続きプロジェクトを推進するとともに、まちの魅力向上・活性化のため、まちのマネジメントに取り組みます。


【事業の内容】

- ① 第二期整備として、複合利用ゾーン等の計画検討を進め、新たな土地利用計画のための都市計画変更手続きを行います。
- ② 2020 年 7 月に東急電鉄株式会社と共同で設立した一般財団法人「みなみまちだをみんなのまちへ」を通じて、パークライフ・サイト内の施設運営や、南町田グランベリーパークの情報発信、施設運営者や地域によるイベント・活動などを支援し、まちの魅力向上・活性化に取り組みます。

【スケジュール】

	2021 年度											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
複合利用ゾーン 計画検討	土地利用検討					都市計画変更手続き						

【事業費】

- ① 南町田拠点創出まちづくりプロジェクト運営事業負担金 1,584 千円
- ② 南町田グランベリーパーク運営事業負担金 18,916 千円

【特定財源】

- ② 指定寄附金 10,416 千円
- ② まちだ未来づくり基金繰入金 4,340 千円

問合せ先	都市づくり部 都市政策課長 窪田	電話	724-4248
------	------------------	----	----------

件 名	(仮称) 玉川学園前駅デッキ整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
277,827		0	60,000	153,000	0	64,827

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 210 ページ

玉川学園コミュニティセンター建替えに伴い、玉川学園前駅から玉川学園コミュニティセンターへのアクセス向上、駅周辺の歩行者の移動の円滑化、丘陵地形である当該施工箇所の段差解消による駅周辺のバリアフリー化を目的とし、(仮称)玉川学園前駅デッキを整備します。

本整備により、2021 年 5 月に開所するコミュニティセンターにアクセスがしやすくなるとともに、誰もが駅や市道町田 128 号線(都市計画道路 3・4・33 号線)を挟んだ東西方向への移動がしやすくなります。

【事業の内容】

- ・(仮称)玉川学園前駅デッキを整備します。

橋梁延長 43.7m

幅員 3.0m～3.5m

屋根有

- ・2021 年度は、エレベータや、屋根の設置工事などを行います。



(仮称)玉川学園前駅デッキ完成予想図

【スケジュール】

	2020 年度	2021 年度
(仮称)玉川学園前駅 デッキ整備事業	整備工事(17.7 か月)	★9 月 使用開始
		★5 月 コミュニティセンター開所

【主な事業費】

整備工事費 246,192 千円

工事監理委託料 18,920 千円

【特定財源】

地域福祉推進包括補助金(都 1/2) 60,000 千円

道路整備事業債 153,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 岩岡	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名	野津田公園スポーツの森整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
293,443		60,000	0	176,000	0	57,443

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 223 ページ

2014 年 5 月に「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指し、第二次野津田公園整備基本計画を策定しました。総合スポーツパークとして機能を高めるため、北側拡張区域に多目的グラウンドの整備を進め、「スポーツの森」としての魅力を創出します。

【事業の内容】

2022 年度の供用開始に向けて、多目的グラウンド及びクラブハウス等の整備工事を行います。

【スケジュール】

	2021 年度	2022 年度
拡張区域整備	多目的グラウンド等整備工事	多目的グラウンド等 供用開始(2022 年度当初予定)

【主な事業費】

多目的グラウンド等電気設備工事	114,117 千円
多目的グラウンド等整備工事	107,963 千円
クラブハウス整備工事(多目的グラウンド)	53,680 千円
多目的グラウンド等整備工事監理委託料	8,041 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金(国 1/2)	60,000 千円
都市計画事業債	176,000 千円



多目的グラウンド完成イメージ図

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件 名	中心市街地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,500		1,500	0	0	0	2,000

【事業の背景・目的】

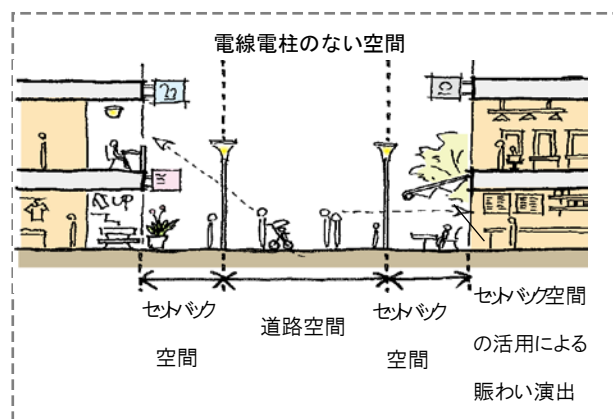
Ⅱ 部別予算概要説明書 220 ページ

2016 年に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に掲げる 10 のプロジェクトの1つである「個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト」の実現のため、2018 年度から原町田中央通り（原町田大通りから文学館通りの区間）の無電柱化事業に向けた道路舗装や街路灯の再整備に合せ、快適な歩行空間と、商店街の個性や魅力ある雰囲気維持に向けた検討を市民、中心市街地活性化協議会等と協働して進めています。

2019 年度には、通りの未来を描く市民ワークショップと社会実験を行いました。2020 年度は沿道地権者や建物所有者、商店主等へのアンケート・ヒアリング・協議を行い、現状の課題を解決し、通りの魅力を高めるために、沿道空間の使い方等の誘導を図る「原町田中央通りデザインガイドライン（案）」を作成しました。



【取り組み範囲】



【まちづくり計画に掲げる通りの将来像】

【スケジュール】

2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度以降
無電柱化事業とのデザイン調整				
ガイドライン策定、運用体制構築	運用支援			

【事業費】

原町田中央通りまちづくり支援業務委託料 3,500 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/2） 1,500 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木	電話	724-4266
------	--------------------	----	----------

件 名	中心市街地活性化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
18,382		8,029	0	0	0	10,353

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 191 ページ

市では、中心市街地が、賑わいや交流にあふれ、何度でも訪れたくなる魅力的なエリアになることを目指し2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」を推進しています。

このうち、「原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」では、2021年1月に策定した都市再生整備計画に基づき、都市再生推進法人※1である株式会社町田まちづくり公社と共に、原町田大通りに新たな憩いの空間、賑わいの空間を生み出し、商店街の賑わいの向上につなげます。

※1 都市再生推進法人とは、都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定する法人です。

原町田大通り



【事業の内容】

○「原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」（町田市中心市街地まちづくり計画プロジェクト6）

都市再生推進法人である株式会社町田まちづくり公社と共に、原町田大通りの利活用に向けた社会実験を行い、人の流れや活動の変化、周辺への波及効果などを検証します。

【スケジュール】

年度		2021年度		2022年度		2023年度	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
都市再生整備 計画の推進	市	公共空間活用検討 関係者協議					
		パークレット※2 の 設置に向けた測量	賑わい空間創出に向けた 実証実験	パークレットの 設計	パークレットの 作製、設置		
	法 推 人 進	道路占用許可の特例を活用 するための協議・調整					
		道路占用許可の特例を活用した取組（エリアマネジメント広告など）					

※2 パークレットとは、車道の一部を転用して人のための休憩や飲食ができる空間のことです。

【主な事業費】

仮設歩道等拡張整備検討業務委託料	10,058 千円
公共空間利活用社会実験負担金	6,000 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/2）	8,029 千円
--------------------	----------



原町田大通り 交通影響調査の様子

問合せ先	経済観光部 産業政策課長 増山	電話	724-3296
------	-----------------	----	----------

件 名		香山緑地整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
188,661		52,000	0	108,000	0	28,661

【事業の背景・目的】

鶴川駅周辺に残された市街地の貴重な緑の保全と都市景観の向上及び町田市の観光拠点とするため、庭園と存在感のある書院造の建物を整備します。

鶴川地域への来訪者の増加と地域住民が交流する場の提供や、周辺観光施設との連携により活用を図ります。

Ⅱ 部別予算概要説明書 223 ページ



香山緑地

【事業の内容】

2021 年度は、2020 年度に引き続き、香山緑地の基盤整備工事を行います。

【スケジュール】

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
① 管理・運営		庭園プレオープン（年度毎に期間限定） 運営事業計画	事業者準備	香山緑地全体 事業者管理 開始
② 建物		既存建物耐震・改修工事		
③ 整備	基盤整備工事 （2 年目）		庭園工事	

（凡例） 事業者主体

（凡例） 町田市

【主な事業費】

基盤整備工事費181,191 千円

（2020～2021 年度債務負担行為 総事業費 298,512 千円）

工事監理委託料6,402 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/2）52,000 千円

都市計画事業債108,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件 名	温浴施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
701,082		0	0	517,000	0	184,082

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 131 ページ

温浴施設の整備については、「町田市5ヵ年計画 17-21」重点事業である「健康増進施設の整備」として位置付けられています。当施設については、2018 年 3 月に策定した熱回収施設周辺整備の基本構想に基づき、新たな熱回収施設で発生する熱エネルギーを有効に活用するため、幅広い世代の健康の増進と交流を図る温浴施設を室内プールの付帯施設として整備します。

【事業の内容】

2020 年 10 月から着手している整備工事について、2021 年 11 月に完了し、2022 年 4 月の開館に向けて準備を行います。

【スケジュール】

年度	2021												2022											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業内容	整備工事												開館準備			●開館								



（温浴施設外観イメージ図）

整備地	町田市図師町 199 番地 1 （室内プール敷地内）
規模・構造	1,600 m ² 程度、地上 3 階建 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
主な内容	男女浴場、サウナ、休憩室、 多目的室（1.2）、キッズスペース

【事業費】

施設整備工事費	669,174 千円
（2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費	1,046,858 千円）
工事監理委託料	20,186 千円
（2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費	20,186 千円）
備品等購入費	8,304 千円
ゲート式駐車場整備工事費	3,418 千円

【特定財源】

体育施設整備事業債	517,000 千円
-----------	------------

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件 名	忠生スポーツ公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
17,999		0	0	0	0	17,999

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 202 ページ

町田市一般廃棄物最終処分場（池の辺地区、峠谷地区）及び隣接する旧埋立地については、2017 年度に策定した「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」に基づき、「忠生スポーツ公園」として活用するものです。

池の辺地区は、埋め立てた廃棄物が周辺環境へ影響を及ぼさず、安全に上部を利用できることが確認できたため、2020 年 9 月に東京都に埋立処分終了届を提出しました。引き続き、公園整備を開始しています。峠谷地区と旧埋立地についても、安全性を確認しつつ、基本構想を実現するため、着実に事業を進めていきます。

【事業の内容】

峠谷地区は、周囲より地盤が低くなっているため、「忠生スポーツ公園」として活用するには、地盤のかさ上げが必要となります。峠谷地区の地盤高(113m)を周囲の地盤高(121m)に揃えるには、約 10 万 m³ほどの土砂が必要となります。2022 年度から土砂の受け入れを開始できるよう、2021 年度は、盛土・排水設計と、土砂搬入路の舗装工事をを行います。

また、最終処分場等とその周辺の安全確認のため、環境モニタリング調査と雨水調整池の浚渫を行います。

【スケジュール】

	2021年度												2022年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
公園活用							③盛土・排水設計						盛土
										④搬入路舗装工事			
安全確認	①環境モニタリング調査・水質検査・埋立廃棄物安定化状況評価 ②雨水調整池浚渫												(1年に1回)

【事業費】

①環境モニタリング調査等委託料	8,918 千円
②雨水調整池浚渫委託料	3,903 千円
③盛土・排水設計委託料	2,673 千円
④土砂搬入路舗装工事費	2,475 千円
光熱水費	30 千円

【峠谷地区・盛土予定範囲図】



問合せ先	環境資源部 資源循環課長 林	電話	797-2732
------	----------------	----	----------

件 名	スポーツをする場の環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
467,432		0	0	333,000	20,000	114,432

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 131 ページ

市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、調整池等の活用を図り、スポーツができる公園等として整備し、効果的・効率的な施設管理及び運営を行います。成瀬鞍掛スポーツ広場は、学校予定地をスポーツ広場として暫定利用してきましたが、これまで以上に幅広い年代の方が安全安心に利用できるように、公の施設として整備します。

【事業の内容】

学校予定地（成瀬鞍掛スポーツ広場）をスポーツをする場として活用するため、整備工事を行います。

対象施設	成瀬鞍掛スポーツ施設
整備予定地	町田市西成瀬 2 丁目 7 番
主要施設	グラウンド、休憩所、駐車場等
想定規模	16,528 m ²



成瀬鞍掛スポーツ広場位置図

【実施設計時完成イメージ図】



【スケジュール】

年度	2021												2022											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業内容													●											

整備工事

● 供用開始

【主な事業費】

整備工事費	461,892 千円
工事監理委託料	2,861 千円
備品購入費	2,265 千円

【特定財源】

体育施設整備事業債	333,000 千円
スポーツ振興くじ助成金	20,000 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件 名		無電柱化推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
41,047		0	34,000	0	0	7,047

【事業の背景・目的】

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、事業効果を検証して既設道路においても対象路線を抽出し、無電柱化に向けた検討を進めます。

① 町田 835 号線(原町田中央通り)は市民や来街者の通行が多く、商業の活性化への貢献が期待される路線です。

② 町田 623 号線(消防署前)は 2017 年 11 月に町田消防署が移転し、防災上重要な路線となることから防災機能の向上を図る必要があります。

2 路線ともに、東京都の無電柱化チャレンジ支援事業に採択※され、設計・調査委託料等について都の補助制度を活用し事業を進めます。※1 は 2019 年度、2 は 2018 年度に採択

【事業の内容】

① ・事業延長 約 280m
・2021 年度は、埋設物調査、詳細設計を実施します。

② ・事業延長 約 900m
・2021 年度は、詳細設計を実施します。

Ⅱ 部別予算概要説明書 210 ページ

1 町田 835 号線(原町田中央通り)案内図

2 町田 623 号線(消防署前)案内図

【事業費】

①詳細設計委託料	16,000 千円
①埋設物調査工事費	10,000 千円
②詳細設計委託料(修正・電共)	8,000 千円
②詳細設計委託料(道路)	7,047 千円

【特定財源】

①、②無電柱化チャレンジ支援事業 34,000 千円
補助金(都 10/10)
※2 の詳細設計委託料(道路)除く

問合せ先	道路部 道路整備課長 岩岡	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名	里山環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
16,963		0	7,911	0	0	9,052

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 189 ページ

市北部の広大な丘陵地帯は、自然環境が維持され、良好な里山の景観が作られており、散策コース等の観光資源として活用されています。

今後も里山環境の持続可能な保全を図り、地域の活性化に寄与していくために、活用や保全について計画的に進めていく必要があります。

また、土砂災害の防止や環境の保全など、森林が持つ公益的機能を回復させることを目的として、手入れが遅れているスギ・ヒノキの人工林の間伐を行う森林再生事業を実施します。

【事業の内容】

①(仮称)町田市里山環境活用保全計画策定事業

「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」や「(仮称)町田市都市づくりのマスタープラン」の策定にあわせて、「(仮称)町田市里山環境活用保全計画」を策定します。

②東京都森林再生事業(受託事業)

東京都からの受託事業として、3か年の計画で相原町地区の山林(約22ha)の間伐を実施します。

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業面積	約 7ha	約 7ha	約 8ha

③里山環境再生・保全事業

市有地における里山環境の再生・保全を図ることを目的として、草刈や竹木の伐採等、土地の維持管理を市民と協働で実施します。

【主な事業費】

①(仮称)町田市里山環境活用保全計画策定業務委託料

3,800 千円

②森林再生事業委託料

6,261 千円

③里山環境再生・保全事業補助金

3,300 千円

【特定財源】

②森林再生事業費委託金(都 10/10)

6,261 千円

③生態系保全取組推進事業費補助金(都 1/2)

1,650 千円

＜里山環境の活用事例＞



散策(フットパス)



自転車コース(マウンテンバイク)

問合せ先	経済観光部 農業振興課北部・里山担当課長 粕川	電話	724-2164
------	-------------------------	----	----------

件 名	新商品・新サービス開発支援事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,852		0	0	0	12,852	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 191 ページ

市では、2019 年 3 月に策定した「町田市産業振興計画 19-28」に基づき、事業者の“拡げる”チャレンジを後押しするため、新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援しています。

その取り組みの一つとして、市に寄せられたふるさと納税を活用して、2020 年度に「町田市新商品・新サービス開発事業補助金」を新設し、市内中小企業者を対象として、商品の効果測定等を目的に、市内で実施する実証実験の費用の一部を補助しました。

一方、取り組みを進める中で、事業者にとって実証実験費用だけでなく、商品・サービスの開発費用が負担であること、実験場所を市内に限定すると、業種や実験内容によっては、実験場所の確保が難しいことがわかりました。

これらの課題を解決するため、2021 年度から事業内容を拡充し、市内事業者の競争力の強化と、付加価値の向上を図ります。



“拡げる”チャレンジ

【事業概要】

項目	内容
(1)補助対象者	市内で3か月以上事業を営んでいる中小企業者
(2)補助対象経費	・ 新たな商品・サービスの開発経費 ・ 開発に際し国内で実施する実証実験に係る経費
(3)補助金額	対象経費の1/2(1事業者あたり上限2,000千円)

＜拡充内容＞

(1)補助対象者：市内事業実績を「1年以上」から「3か月以上」に変更

(2)補助対象経費：新たな商品・サービスの開発経費を追加、実証実験の場所を「市内」から「国内」に変更

(3)補助金額：1事業者上限「500千円」から「2,000千円」に変更

【スケジュール】

年	2021										2022		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
制度周知	→												
申請受付(4/1～5/31)	→												
第一次審査(書類)			→										
第二次審査(選考懇談会)				★									
交付決定					★								
事業実施					→								
実施報告・補助金交付							→						

【主な事業費】

新商品・新サービス開発補助金 12,000 千円
(2,000 千円×6 件)

【特定財源】

指定寄附金 6,827 千円
まちだ未来づくり基金繰入金 6,025 千円

問合せ先	経済観光部 産業政策課長 増山	電話	724-3296
------	-----------------	----	----------

件 名	考古・歴史・民俗資料活用事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
11,251		0	0	0	2,992	8,259

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要説明書 270 ページ

町田市の持つ考古・歴史・民俗資料の新たな活用策として、特に優れた資料のデジタル画像と説明を併せて掲載する「町田デジタルミュージアム」の構築を進めます。「町田デジタルミュージアム」は、町田市の歴史を旧石器時代から現代までわかりやすく理解できる内容として構成し、インターネット上で公開します。インターネットで閲覧できるようになることで、時間や場所を選ばず文化財に触れられる機会を創出します。2021年度は、民俗資料の撮影と構築、遺跡地図や年表の作成を進めます。また、これまでに撮影してきた資料のウェブ上でのレイアウト編集等を行い、2022年度に全面公開します。

【事業の内容】

町田デジタルミュージアムの構築

考古・歴史・民俗資料について、指定文化財等を中心に、3Dまたは2D写真の撮影を行い、デジタル化した画像データや説明文を作成し、順次公開します。

＜掲載予定資料＞

- (1) 歴史資料(古文書等 150 点など)、(2) 考古資料(考古資料 140 点、横穴墓 4 基など)、
(3) 民俗資料(民俗資料 10 点、古民家 2 棟など)



古文書



横穴墓



古民家

【スケジュール】

年度	2021												2022		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
デジタルミュージアム構築	考古・民俗資料分構築												●全面公開		
	年表作成										レイアウト編集				

【事業費】

システム導入委託料 11,251 千円

(2019～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 26,313 千円)

【特定財源】

図書館振興財団助成金 2,992 千円

問合せ先	生涯学習部 生涯学習総務課長 佐藤	電話	724-2554
------	-------------------	----	----------

(参考資料) 予算の構成表及び内訳表

◇ 会計別

2021年度 会計別予算構成表

(単位: 千円・%)

区 分		2021年度		2020年度		比 較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計		173,842,073	57.9	166,103,888	57.7	7,738,185	4.7
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業 会 計	41,130,520	13.7	40,236,641	14.0	893,879	2.2
	介 護 保 険 事 業 会 計	36,668,689	12.2	35,427,828	12.3	1,240,861	3.5
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 会 計	12,004,508	4.0	11,846,530	4.1	157,978	1.3
	鶴 川 駅 南 土 地 区 画 整 理 事 業 会 計	105,021	0.0	69,166	0.0	35,855	51.8
	下 水 道 事 業 会 計	18,700,519	6.2	17,841,273	6.2	859,246	4.8
	収 益 的	12,738,032	4.2	12,411,090	4.3	326,942	2.6
	資 本 的	5,962,487	2.0	5,430,183	1.9	532,304	9.8
	病 院 事 業 会 計	17,863,071	6.0	16,173,983	5.7	1,689,088	10.4
	収 益 的	14,945,945	5.0	14,947,367	5.2	△ 1,422	0.0
	資 本 的	2,917,126	1.0	1,226,616	0.5	1,690,510	137.8
	小 計	126,472,328	42.1	121,595,421	42.3	4,876,907	4.0
合 計		300,314,401	100.0	287,699,309	100.0	12,615,092	4.4

◇ 歳入

2021年度 一般会計歳入予算内訳表

(単位: 千円・%)

款	2021年度		2020年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 市 税	63,619,570	36.6	68,830,713	41.5	△ 5,211,143	△ 7.6
2. 地 方 譲 与 税	700,001	0.4	777,001	0.5	△ 77,000	△ 9.9
3. 利 子 割 交 付 金	92,000	0.1	99,000	0.1	△ 7,000	△ 7.1
4. 配 当 割 交 付 金	470,000	0.3	511,000	0.3	△ 41,000	△ 8.0
5. 株式等譲渡所得割交付金	511,000	0.3	283,000	0.2	228,000	80.6
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	506,000	0.3	203,000	0.1	303,000	149.3
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	8,615,000	5.0	8,680,000	5.2	△ 65,000	△ 0.7
8. ゴルフ場利用税交付金	34,000	0.0	38,000	0.0	△ 4,000	△ 10.5
9. 環 境 性 能 割 交 付 金	167,000	0.1	187,000	0.1	△ 20,000	△ 10.7
10. 地 方 特 例 交 付 金	2,184,000	1.2	409,000	0.2	1,775,000	434.0
11. 地 方 交 付 税	1,729,000	1.0	1,149,000	0.7	580,000	50.5
12. 交通安全対策特別交付金	48,000	0.0	47,000	0.0	1,000	2.1
13. 分 担 金 及 び 負 担 金	715,005	0.4	723,616	0.4	△ 8,611	△ 1.2
14. 使 用 料 及 び 手 数 料	3,488,724	2.0	3,432,882	2.1	55,842	1.6
15. 国 庫 支 出 金	34,144,045	19.6	32,931,479	19.8	1,212,566	3.7
16. 都 支 出 金	23,731,626	13.6	22,505,449	13.5	1,226,177	5.4
17. 財 産 収 入	1,746,460	1.0	1,778,696	1.1	△ 32,236	△ 1.8
18. 寄 附 金	111,725	0.1	112,841	0.1	△ 1,116	△ 1.0
19. 繰 入 金	4,824,786	2.8	4,030,574	2.4	794,212	19.7
20. 繰 越 金	1,000,000	0.6	1,000,000	0.6	0	0.0
21. 諸 収 入	1,792,131	1.0	2,424,637	1.5	△ 632,506	△ 26.1
22. 市 債	23,612,000	13.6	15,950,000	9.6	7,662,000	48.0
歳 入 合 計	173,842,073	100.0	166,103,888	100.0	7,738,185	4.7

◇ 歳出（目的別）

2021年度 一般会計歳出予算目的別内訳表

（単位：千円・％）

（単位：千円・％）

款	2021年度 予 算 額 （構成比）	2020年度 予 算 額 （構成比）	増 減 額 （増減率）	2021年度予算額の財源内訳				
				特 定 財 源				一般財源 （構成比）
				国庫支出金	都支出金	地方債	その他	
1. 議会費	664,786 （0.4％）	668,275 （0.5％）	△ 3,489 （△0.5％）	263	131	—	—	664,392 （0.8％）
2. 総務費	16,361,210 （9.4％）	17,419,628 （10.5％）	△ 1,058,418 （△6.1％）	375,616	1,346,127	492,000	739,493	13,407,974 （15.3％）
3. 民生費	81,949,332 （47.1％）	80,570,769 （48.5％）	1,378,563 （1.7％）	28,061,101	16,157,501	79,000	2,205,543	35,446,187 （40.4％）
4. 衛生費	26,695,521 （15.4％）	20,938,599 （12.6％）	5,756,922 （27.5％）	4,356,473	856,251	8,640,000	4,144,541	8,698,256 （9.9％）
5. 労働費	39,427 （0.0％）	40,829 （0.0％）	△ 1,402 （△3.4％）	—	—	—	—	39,427 （0.0％）
6. 農林費	357,394 （0.2％）	411,604 （0.2％）	△ 54,210 （△13.2％）	—	68,662	—	4,439	284,293 （0.3％）
7. 商工費	847,145 （0.5％）	945,973 （0.6％）	△ 98,828 （△10.4％）	—	46,082	—	158,812	642,251 （0.7％）
8. 土木費	10,737,821 （6.2％）	17,008,392 （10.2％）	△ 6,270,571 （△36.9％）	247,031	1,059,086	1,277,000	1,215,727	6,938,977 （7.9％）
9. 消防費	4,895,406 （2.8％）	5,039,825 （3.0％）	△ 144,419 （△2.9％）	174,000	174,000	174,000	174,000	4,199,406 （4.8％）
10 教育費	20,466,005 （11.8％）	15,164,959 （9.1％）	5,301,046 （35.0％）	1,094,771	2,064,386	5,627,000	1,627,221	10,052,627 （11.4％）
11 災害 復旧費	6 （0.0％）	6 （0.0％）	0 （0.0％）	—	—	—	—	6 （0.0％）
12 公債費	10,678,020 （6.1％）	7,745,029 （4.7％）	2,932,991 （37.9％）	—	—	3,374,000	—	7,304,020 （8.3％）
13 予備費	150,000 （0.1％）	150,000 （0.1％）	0 （0.0％）	—	—	—	—	150,000 （0.2％）
歳 出 合 計	173,842,073 （100.0％）	166,103,888 （100.0％）	7,738,185 （4.7％）	34,309,255	21,772,226	19,663,000	10,269,776	87,827,816 （100.0％）